

支え合いのまち千葉 推進計画の 平成29年度の進捗状況 ～市の取組み（公助の取組み）～

千葉市保健福祉局地域福祉課

～この資料の見方について～

「支え合いのまち千葉推進計画」第4章(P40～)では、地域福祉の推進に必要な「自助」「共助」「公助」の3つの活動のうち、市が主体となって実施する公助の取組みを掲載しています。

この公助の取組みは、7つの方向性、18の取組項目のもとに136の事業・施策を位置付けていますが、本資料では、これらの事業・施策について、それぞれ「平成29年度の予定・目標」「平成29年度の実績(取組状況)」「評価」を記載しています。

基本目標	区分	施策の方向性	取組項目
ともに支えあう地域福祉社会を創る	市の取組み(公助の取組み)	1 利用しやすいサービスの実現	(1) 情報提供の充実
			(2) 相談や苦情の受付体制の充実
			(3) サービスの質向上と提供体制の充実
		2 暮らしを守る取組み	(4) 人権を尊重する取組み
			(5) 要支援者への支援
			(6) 生活困窮者への支援
		3 民間との連携協働と活動支援	(7) 民間との連携とコミュニティビジネスの促進
			(8) 千葉市社会福祉協議会の活動支援
		4 交流の機会創出と社会参加の促進	1 (9) 交流の機会創出と社会参加の促進
			2 (10) 健康づくり
		5 支え合いの仕組みづくり	3 (11) 相談体制と情報提供の充実
			4 (12) 要支援者を支える仕組みづくりと地域団体の活性化
			5 (13) 見守り体制の構築
			6 (14) 防犯に対する取組み
			7 (15) 防災に対する取組み
		6 福祉教育と人材育成	8 (16) 福祉教育・啓発
			9 (17) 人材確保とボランティア活動の促進
		7 暮らしやすい環境づくり	(18) まちの基盤整備
	(共)地域の取組み	1 中央区の取組み	(中央区支え合いのまち推進計画)
		2 花見川区の取組み	(花見川区支え合いのまち推進計画)
		3 稲毛区の取組み	(稲毛区支え合いのまち推進計画)
		4 若葉区の取組み	(若葉区支え合いのまち推進計画)
		5 緑区の取組み	(緑区支え合いのまち推進計画)
		6 美浜区の取組み	(美浜区支え合いのまち推進計画)

※計画書の38ページから抜粋

施策の方向性

「支え合いのまち千葉推進計画」第4章に掲載している事業・施策の内容

市の取組み(公助の取組み) 一覧						
No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の予定・目標	平成29年度の実績(取組状況)	担当課 評価
1 利用しやすいサービスの実現						
(1) 情報提供の充実						
1	区役所窓口部署の整備	高齢者福祉課等の窓口として、「まちづくり課」を併設し、区役所窓口部署を強化します。	区役所福祉課	福祉サービス窓口等の整備を推進します。	福祉サービス窓口等の整備を推進します。	A
2	市役所コールセンター	福祉サービスやイベントなどの問い合わせ等、一元的に対応します。	区役所福祉課	福祉サービスの問い合わせの対応に努め、平成29年度12月の福祉、イベント受け付け業務開始、イベント件数：5件、問い合わせ件数：1,000件	問い合わせ受け付け業務開始(平成29年度) ・件数：75,740件 ・問い合わせ件数状況(上記5項目までの行動分野) ・「こども・リサイクル」37.3% ・「各種相談・支援」13.3% ・「福祉・健康・生活支援」11.3% ・「福祉・健康」8.0% ・「福祉」7.0% ・イベント受け付け業務開始 ・イベント件数：5件 ・問い合わせ件数：1,000件	A
3	障害者に対する情報提供	障害者支援センターや障害者福祉課等の関係機関と連携し、障害者の生活支援に努めます。	障害者自立支援課	【障害者支援センターの事業】 ・障害者支援センターの事業に努めます。 【障害者福祉課の事業】 ・障害者福祉課の事業に努めます。 【障害者福祉課の事業】 ・障害者福祉課の事業に努めます。 【障害者の福祉についての関係】 ・関係機関との連携に努めます。	【障害者支援センターの事業】 ・障害者支援センターの事業に努めます。 【障害者福祉課の事業】 ・障害者福祉課の事業に努めます。 【障害者福祉課の事業】 ・障害者福祉課の事業に努めます。 【障害者の福祉についての関係】 ・関係機関との連携に努めます。	A
4	多様な手段による情報提供	各種ウェブサイト・パンフレットや広報誌等の関係機関との連携、ホームページやソーシャルメディア等の活用による情報提供に努めます。	区役所福祉課	【障害者の福祉についての関係】 ・関係機関との連携に努めます。	【障害者の福祉についての関係】 ・関係機関との連携に努めます。	A

取組項目

平成29年度の進捗状況に対する担当課の評価を記載しています。
評価は、S・A・B・Cの4段階で行い、それぞれの評価基準は次のとおりです。
■S: 年度目標を上回る業務量が達成できた場合
■A: 年度目標にしている業務量を概ね(8割～10割)達成できた場合
■B: 年度目標にしている業務量の一部(5割～7割)達成できた場合
■C: 年度目標にしている業務量を大きく下回った(4割以下)場合

<目次> 市の取組み一覧

1 利用しやすいサービスの実現		評価	ページ	
(1) 情報提供の充実			1	
1	区役所窓口改革の推進	A		
2	市役所コールセンター	A		
3	障害者に対する情報提供	A		
4	多様な手法による情報提供	A		
(2) 相談や苦情の受付体制の充実			2	
5	保健福祉センター「保健福祉総合相談窓口」	A		
6	あんしんケアセンターの機能強化	A		
7	障害者相談支援事業	A		
8	発達障害者支援センターの運営	A	3	
9	精神保健福祉相談	A		
10	こころの健康センターでの支援	A		
11	教育相談事業	A		
12	子ども・若者総合相談事業	B	4	
13	子どもの相談・支援体制の強化	A		
14	出産、育児の相談	A		
15	子育て支援コンシェルジュ	A		
16	子育て支援館の運営	A	5	
17	地域子育て支援センター、子育てリラックス館の運営	A		
18	ハーモニー相談室（女性専用）男性専用相談	A		
19	ふるさとハローワーク事業	A		
(3) サービスの質向上と提供体制の充実			6	
20	社会福祉関係者の研修の実施	A		
21	社会福祉法人等への指導監督	A		
22	在宅医療と介護の連携	A		
23	あんしんケアセンターの機能強化（再掲）	A	7	
24	生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進	A		
25	介護人材の確保と定着の取組み（介護職員初任者研修受講者支援）	C		
26	介護相談員派遣事業の充実	A		
27	保健福祉センターの活用	A		
2 くらしを守る取組み		評価		
(4) 人権を尊重する取組み			6	
28	人権週間等における人権啓発活動	A		
29	日常生活自立支援事業・法人後見事業への支援	A		
30	認知症施策の推進	A		
31	成年後見制度の利用促進	A	7	
32	高齢者虐待への対応	A		
33	障害者虐待への対応	A		
34	児童虐待・DVへの対応	A		
35	児童虐待防止推進月間における啓発活動	A	8	
36	保育施設における児童虐待への対応	A		
(5) 要支援者への支援				
37	避難行動要支援者への対応	B		
38	孤独死防止通報制度の運用	A	9	
39	安心電話・緊急通報装置の設置、SOSネットワークの整備	A		
40	精神科救急医療システム	A		
41	応急手当普及啓発事業	S		
(6) 生活困窮者への支援				
42	千葉市生活自立・仕事相談センター	A	8	
43	ホームレス対策	A		

3 民間との連携協働と活動支援		評価	ページ
(7) 民間との連携とコミュニティビジネスの促進			
44	民間等との包括提携協定	A	9
45	公益活動団体の連携促進	A	
46	民間企業と連携した高齢者の見守り支援	A	
47	コミュニティビジネスの支援	A	
(8) 千葉市社会福祉協議会の活動支援			
48	コミュニティソーシャルワーカーの活動支援	A	
49	区計画推進のための連携	A	
50	市社協の活動支援	A	
4 交流の機会創出と社会参加の促進		評価	
(9) 交流の機会創出と社会参加の促進			
51	地域福祉交流館の運営	A	10
52	老人クラブ活動の充実強化	A	
53	シルバー人材センターの充実	A	
54	いきいきプラザ・センターの運営	A	
55	いきいき活動外出支援事業	A	
56	介護支援ボランティア制度の運用	A	
57	障害者の就労支援	B	
58	トイライブラリー運営事業	A	
59	障害者スポーツ大会等の開催	A	
60	地域活動支援センターの運営支援	A	
61	障害者福祉センター・療育センター・ふれあいの家における各種講座の開催	A	
62	長柄げんきキャンプ	A	
63	こどもカフェの運営	A	11
64	子ども交流館	A	
65	放課後子ども教室推進事業	A	
66	子育て支援館の運営（再掲）	A	
67	地域子育て支援センター、子育てリラックス館の運営（再掲）	A	12
68	保育所（園）地域活動事業	A	
69	母子家庭等の就業自立支援	A	
70	学校支援地域本部事業	A	
(10) 健康づくり			
71	学校体育施設開放事業	A	13
72	健康づくり事業	A	
73	ヘルスサポーターの養成	A	
74	食生活改善推進員の養成	A	
5 支え合いの仕組みづくり		評価	
(11) 相談体制と情報提供の充実			
75	地域福祉に関する情報提供	A	
76	民生委員・児童委員活動への支援	A	
77	ボランティアに関する情報の発信	A	
78	地域保健推進員活動	A	
79	子育てサポーター・家庭教育アドバイザー配置事業	A	14

5 支え合いの仕組みづくり		評価	ページ
(12) 要支援者を支える仕組みづくりと地域団体の活性化			
80	避難行動要支援者への対応（再掲）	B	14
81	地域運営委員会の設立促進	B	
82	ちばし消費者応援団登録	C	15
83	各区支え合いのまち推進協議会の開催	A	
84	地域福祉交流館の運営（再掲）	A	
85	社協地区部会活動の支援	A	
86	高齢者生活支援サービス基盤づくり	A	
87	精神障害者家族会への支援	A	
88	障害のある子どもの学校生活サポート	A	16
89	子育てに関する地域貢献活動への市職員への参加の促進	B	
90	子育てサークルの支援	A	
91	ファミリー・サポート・センター事業	A	
92	地域と連携した空き家有効活用事業	A	
93	学校施設開放の推進	B	
94	地域づくり拠点としての公民館の活用	A	
95	区地域活性化支援事業	A	
(13) 見守り体制の構築			
96	地域見守り活動支援事業	B	17
97	学校セーフティウォッチ	A	
98	美浜区見守りネットワーク	B	
(14) 防犯に対する取組み			
99	市民防犯活動の支援	B	18
100	地域防犯ネットワークの推進	A	
101	交通安全対策	A	
102	くらしの巡回講座の実施	A	
103	保護司の活動支援	A	
104	こども110番のいえ	A	
105	防犯ウォーキングの推進	A	
(15) 防災に対する取組み			
106	土砂災害警戒区域等における警戒避難体制の整備	A	19
107	自主防災組織の育成	B	
108	避難行動要支援者への対応（再掲）	B	
109	避難所運営委員会の設立促進	A	
110	防災備蓄品の整備	A	
111	災害情報ネットワーク	A	
112	災害時におけるボランティア体制の整備	A	
6 福祉教育と人材育成		評価	
(16) 福祉教育・啓発			
113	市政出前講座	A	20
114	福祉教育の推進	A	
115	ボランティア講座開催支援	A	
116	障害者福祉大会の開催	A	
117	障害者週間における啓発活動	A	21
118	児童福祉週間における啓発活動	A	
119	学校・家庭・地域連携まちづくり推進事業	A	
120	学校における総合的な学習の時間を通しての福祉教育	A	
121	千葉市科学館の利用促進	A	

6 福祉教育と人材育成	評価	ページ
(17) 人材育成とボランティア活動の促進		
122 国際交流ボランティアの育成・活動支援の推進	A	21
123 市民のボランティア・NPO活動参加の促進	A	
124 ボランティア活動補償制度	A	
125 民生委員協力員	A	
126 ボランティア活動の促進	A	22
127 ヘルスサポーターの養成（再掲）	A	
128 食生活改善推進員の養成（再掲）	A	
129 認知症サポーター養成講座	A	
130 学校支援地域本部事業（再掲）	A	23
131 生涯学習センター・公民館等における指導者及び各種ボランティア養成	A	
132 応急手当普及啓発事業（再掲）	S	
133 防犯ウォーキングの推進（再掲）	A	
7 くらしやすい環境づくり	評価	
(18) まちの基盤整備		
134 バリアフリーのまちづくりの推進	A	24
135 交通アクセスの確保	A	
136 交通安全総点検	B	

市の取組みの評価について

市の取組みの評価について

市の取組みに位置付けた136の事業・施策について、その実施状況は以下のとおりです。

【実施状況】

評価	評価基準	項目数	割合
S	年度目標を上回る業務量が達成できた場合	2	1%
A	年度目標にしている業務量を概ね（8割～10割）達成できた場合	119	88%
B	年度目標にしている業務量の一部（5割～7割）を達成できた場合	13	10%
C	年度目標にしている業務量を大きく下回った（4割以下）場合	2	1%

平成29年度評価	項目数	割合
前年度の評価を上回った	11	8%
前年度の評価と同じだった	118	87%
前年度の評価を下回った	7	5%

【評価】

実施状況については、S評価（2項目）とA評価（119項目）を合わせて、全体（136項目）の89%を占めます。
また、前年度の評価を上回った項目の数（11項目）が、下回った項目の数（7項目）を上回っており、市の取組みは概ね推進されています。
C評価とした事業・施策が2項目ありましたが、事業目標の達成に向けて着手しているので、今後も引き続き対応していきます。

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【施策の方向性】	1 利用しやすいサービスの実現						
	（１）情報提供の充実						
	1	区役所窓口改革の推進	業務プロセス改革の取組みの一環として、「滞在時間が最少」、「来庁せずとも手続きが完了する」、「必要な手続きを一括で申請できる」窓口を目指し、区役所窓口改革を推進します。	区政推進課	ワンストップ窓口等の円滑な業務運用に努めます。	ワンストップ窓口等の円滑な業務運用に努めた。	A
	2	市役所コールセンター	行政サービスやイベントなどに関する電話等の問い合わせへ、一元的に対応します。	広報広聴課	現在の問い合わせへの対応に加え、平成29年12月から は、イベント受付業務を新たに実施します。	問い合わせ受付業務実績（平成29年度） ・件数：78,740件 主な行政分野別受付状況（上位5位までの行政分野） ・「ごみ・リサイクル」37.3% ・「各種証明書・手続」13.3% ・「健康・医療・生活衛生」11.3% ・「保険・年金」8.9% ・「税金」7.5% イベント受付業務実績 ・イベント件数：3件 ・総受付件数：1,961件 さまざまな行政サービスに関する問い合わせ等に一元的に対応し、市民サービスの向上を図った。	A
	3	障害者に対する情報提供	点字即時情報ネットワーク事業や手話通訳者の派遣や養成、要約筆記者等の派遣や養成を行うほか、点字・声の市政だよりの発行により 市政情報を提供します。 また、手話通訳者を本庁舎及び各区保健福祉センターに配置し、聴覚障害者のコミュニケーションの円滑化を図ります。	障害者自立支援課	【点字即時情報ネットワーク事業】 引き続き、実施します。 【手話通訳者養成事業】 手話奉仕員養成講座「後期」と手話通訳者養成講座「通訳Ⅱ」を実施します。 【要約筆記者養成事業】 要約筆記者養成講座「前期」を実施します。 【手話通訳者等の派遣】 引き続き、実施します。 【点字の市政だよりの発行】 引き続き、実施します。 障害者自立支援課及び各区高齢障害支援課に各1名ずつ、計7名の手話通訳（非常勤嘱託職員）を配置します。	【点字即時情報ネットワーク事業】 新聞等に掲載される最新情報を、市内在住の視覚障害者に対して、点字で迅速に提供した（郵送ほか）。 平成30年3月の実利用人数 34人 【手話通訳者養成事業】 ・手話奉仕員養成講座「後期」 修了者 16人 ・手話通訳者養成講座「手話通訳Ⅱ」 修了者 14人 【要約筆記者養成事業】 ・要約筆記者養成講座「前期」 修了者 2人 【手話通訳者等の派遣】 ・派遣回数 1,785件 【点字の市政だよりの発行】 実施した。 障害者自立支援課及び各区高齢障害支援課に各1名ずつ、計7名の手話通訳（非常勤嘱託職員）を配置した。	A
	4	多様な手法による情報提供	各種ガイドブック・パンフレットや広報紙等の紙媒体のほか、ホームページやソーシャルメディア等のＩＴ媒体を活用したリアルタイムでの情報提供に努めます。 また、地域の連絡会議や地域における活動者、その他各種ネットワーク等、多様な手法により、情報提供の充実を図ります。	全 庁	引き続き、市政情報を提供します。	庁内各課において、市政情報システムを活用するとともに、必要に応じてTwitterやFacebookなどのソーシャルメディアによる情報提供に努めた。 また、地域運営委員会や地域ケア会議など、多様な手法による地域への情報提供の充実を図った。	A
				障害福祉サービス課	引き続き、市政情報を提供します。	【声の市政だより】 ・発行部数 1,319部	

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【施策の方向性】	1 利用しやすいサービスの実現						
	（2）相談や苦情の受付体制の充実						
	5	保健福祉センター「保健福祉総合相談窓口」	高齢者、障害者、こども等に係る総合的な相談業務の充実に努めます。	保健福祉総務課	引き続き、相談業務の充実に努めます。	【保健福祉総合相談窓口】 ・取扱件数 37,613件（6区合計）	A
	6	あんしんケアセンターの機能強化	高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられるよう、高齢者やその家族に対する総合的な相談・支援、要介護状態の軽減や悪化防止のための介護予防ケアマネジメント、権利擁護事業など、地域包括ケアの中心を担う総合的な窓口として機能の充実に努めます。	地域包括ケア推進課	【あんしんケアセンター】 6区中3区の保健福祉センター高齢障害支援課に包括3職種（保健師職・社会福祉士・主任ケアマネジャー）を配置し、あんしんケアセンター（地域包括支援センター）の支援体制整備を行います。 個別ケースの対応支援及び地域ケア会議や地域介護予防活動支援等の地域活動の支援を行います。	【支援体制整備】 3区（花見川・稲毛・緑）の保健福祉センター高齢障害支援課にあんしんケアセンター支援担当職員を配置し、個別ケース対応、地域ケア会議開催支援、地域介護予防活動支援等のあんしんケアセンターを支援する体制を整備した。 【センター増設】 ・平成29年4月1日から30か所（出張所2か所含む）に増設した。 【包括3職種（保健師職、社会福祉士、主任ケアマネジャー）の配置】 ・高齢者人口に応じ、包括3職種の人数を109人→137人に増員した。 【資質向上、平準化】 ・各関係機関との連携を図るため、会議・研修を実施した。 ○会議開催数 11回 ○研修開催数 3回	A
	7	障害者相談支援事業	障害者が地域で自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう、障害者施設の専門職員が様々な相談に応じ支援します。	障害福祉サービス課	引き続き、障害者（児）施設に委託して、障害者相談支援事業を実施します。	障害者（児）施設に委託し、市内7か所で障害者相談支援事業を行った。	A
	8	発達障害者支援センターの運営	自閉症やアスペルガー症候群、学習障害、ADHD（注意欠陥多動性障害）などの発達障害者及びその家族からの相談に応じ、指導または助言を行うとともに、関係機関と連携し、地域における支援体制の充実に努めます。	障害者自立支援課	引き続き、実施します。	千葉市社会福祉事業団に委託して、障害者本人及び家族からの発達障害に関する相談や就労に関する相談に応じるとともに、保育所等の施設職員に対する支援を行った。 ＜実支援人数計＞ 相談支援・発達支援 760人 相談支援・就労支援 144人	A
	9	精神保健福祉相談	精神障害者やその家族等を対象に、各区保健福祉センター健康課において、精神保健福祉相談員及び医師等により、精神保健福祉に関する相談に応じます。	精神保健福祉課	引き続き、各区保健福祉センター健康課において、精神障害者やその家族等を対象に、精神保健福祉相談員及び医師等による相談を行います。 相談件数は、前年度並みの件数を目標とします。	各区保健福祉センター健康課において、精神障害者やその家族等を対象に、精神保健福祉相談員及び医師等による相談を行った。 ・精神保健福祉相談員等による相談 1,800件 ・精神科嘱託医による相談 172件 ・訪問指導 802件 【ひきこもり地域支援センター】 ・相談、問い合わせ等 2,323件	A
	10	こころの健康センターでの支援	精神的健康の保持増進、精神障害の予防、精神障害者の社会復帰促進などの援助を行います。	こころの健康センター	引き続き、精神保健福祉相談等及び自殺対策事業を実施していきます。	精神保健福祉相談員や嘱託精神科医師による精神保健福祉相談を実施するとともに、相談専用電話「こころの電話」を設置し、市民のこころの健康に関する相談に対応した。 ・精神保健福祉相談 1,777件 ・こころの電話 2,294件 また、自殺対策の強化を図るため、市民講演会やゲートキーパー養成研修他を実施した。	A

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【施策の方向性】	1 利用しやすいサービスの実現						
	（2）相談や苦情の受付体制の充実						
	11	教育相談事業	障害等がある子ども及びその保護者、教職員からの電話相談・来所相談・学校訪問相談等ニーズに応じた指導・助言をすることで学校生活が円滑に送れるように支援します。	教育委員会 養護教育センター	特別な支援が必要な幼児・児童生徒及びその保護者に対し、来所相談、電話相談、医療相談、グループ活動を実施します。 保護者や教職員等の要望に応じて、学校訪問相談を実施します。	特別な支援が必要な幼児・児童生徒及びその保護者に対し、来所相談、電話相談、医療相談、グループ活動を行った。 ・来所相談 1,508件 ・相談回数 7,470回 ・電話相談 6,155回 ・医療相談 59回 ・土曜相談 58回 ・グループ活動 8回 平成30年度に市内小学校に就学予定の特別な支援や配慮を要する年長児の保護者に対し、就学説明会を行った。 ・就学説明会 276家庭参加（3日間実施） 保護者や教職員等の要望に応じて、学校訪問相談を行った。 ・学校訪問相談 969件	A
	12	子ども・若者総合相談事業	社会生活を円滑に営む上で困難を抱える子ども・若者に対して、関係機関が連携して支援を行う体制の整備を進めます。 また、ニートやひきこもり、不登校等の問題を有する子ども・若者及びその家族の様々な相談に応じる総合相談窓口として「子ども・若者総合センター（Link）」を設置し、電話・来所による相談の他、訪問相談・同行支援にも対応します。	健全育成課 青少年サポートセンター	・千葉市子ども・若者支援協議会の実施（年3回） ・相談（電話・来所・訪問・同行支援）を600件予定	・相談件数 406件 ・関係機関、団体による代表者会議 1回 ・関係機関を招いての実務者会議 2回 ・個別ケース検討会議 2回	B
	13	子どもの相談・支援体制の強化	子どもと家庭に関する様々な問題に対応するため、児童相談所や区家庭児童相談室、児童家庭支援センターなどにおいて、子どもの相談・支援体制の充実に努めます。	こども家庭支援課 児童相談所	引き続き、児童家庭支援センターに対する運営費の補助及び事業内容の指導を行います。 児童の問題に関する相談について、児童相談所、家庭児童相談室で助言、指導を行います。	児童家庭支援センター※（市内3か所）に対し、運営費の補助及び事業内容の指導を行った。 ・相談件数 3,618件（3か所合計） ※「児童家庭支援センター」… 児童に関する専門知識及び技術を有し、相談者に助言・指導を行う 児童の問題に関する相談について、児童相談所、家庭児童相談室で助言、指導を行った。 ・児童相談所による相談 5,554件 ・家庭児童相談室による相談 1,400件	A
	14	出産、育児の相談	出産する病院の情報提供や新生児の育児の相談の充実に努めます。	健康支援課	引き続き、妊娠期からの早期支援等に取り組めます。	平成29年4月より各区健康課内に母子健康包括支援センターを設置した。妊娠届出時に専門職による全数面接を実施し、出産や育児についての相談に応じ、必要に応じて妊娠中から支援を開始するよう努めた。 ・妊娠届出数（＝面接数）：7,067件 里帰り出産される方も妊婦健診受診票が使用できるように、委託医療機関を増やすよう配慮した。 ・妊婦健診の委託医療機関数 704医療機関 出生通知書を受理することにより新生児訪問を実施し、新生児の育児相談に努めた。 ・出生通知書受理数：5,143件 （うち 電子申請数：1,319件）	A

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【施策の方向性】	1 利用しやすいサービスの実現						
	（2）相談や苦情の受付体制の充実						
	15	子育て支援 コンシェルジュ	子育て支援コンシェルジュが、保育をはじめとした子育て支援サービス全般の利用に関する相談・情報提供などを行います。	幼保支援課	引き続き、子育て支援サービス全般の利用に関する相談・情報提供等業務を行います。	【子育て支援コンシェルジュ】 ・相談件数 11,062件（6区合計） （内訳：中央区1,838件、花見川区1,323件、 稲毛区1,925件、若葉区2,606件、 緑区1,780件、美浜区1,590件）	A
	16	子育て支援館 の運営	子育て親子のふれあいの場を提供するほか、子育てコーディネーターが各種子育てサービスの情報収集、インターネット等を活用した情報提供を行います。	幼保支援課	引き続き、子育て親子のふれあいの場の提供、各種子育てサービスの情報収集、情報提供及び子育てに関する相談の対応にあたります。	【子育て支援館】 ・来館人数 67,847人	A
	17	地域子育て支援センター、 子育てリラックス館の運営	子育て親子のふれあいの場の提供、交流の促進、保育士や子育てアドバイザーによる子育てに関する相談指導・援助、講習の実施、地域の子育て関連情報の提供などを行います。	幼保支援課	引き続き、子育て親子のふれあいの場の提供、交流の促進、保育士や子育てアドバイザーによる子育てに関する相談指導・援助、講習の実施、地域の子育て関連情報の提供などを行います。	【地域子育て支援センター】 ・利用人数 73,479人（市内7か所） 【子育てリラックス館】 ・利用人数123,360人（各区2か所ずつ、12か所）	A
	18	ハーモニー相談室（女性専用）男性専用 相談	家族、健康、対人関係など、女性・男性の様々な悩みや不安について、相談に応じます	男女共同参画課	引き続き、女性・男性の様々な悩みや不安に関する相談に応じます。	家族、健康、対人関係など、女性・男性の様々な悩みや不安について相談を行った。 【ハーモニー相談（女性専用）】 ・相談人数 2,069人 ・相談件数 9,784件 【男性相談】 ・相談人数 131人 ・相談件数 244件	A
	19	ふるさとハローワーク事業	国と共同で、職業紹介と就労・生活支援相談をワンストップで対応し、就業や就労の定着化の促進を図ります。	経済企画課	【ふるさとハローワーク（市内2か所）】 ・利用者数 29,000人 ・職業紹介 5,350人 ・就職者数 1,050人	【ふるさとハローワーク（市内2か所）】 ・利用者数 31,831人 ・職業紹介 5,733人 ・就職者数 1,197人	A
	（3）サービスの質向上と提供体制の充実						
	20	社会福祉関係者の研修の実施	福祉を担う人材の養成と資質の向上、福祉サービスの向上を図るため、幅広い研修を計画的かつ体系的に実施します。	地域福祉課	引き続き、社会福祉研修を実施し、地域福祉を担う人材の養成と資質の向上を図ります。	社会福祉に関する研修を実施し、地域福祉を担う人材の養成と資質の向上を図った。 【社会福祉施設職員等向け研修】 ・講座数 33講座（87日間） ・参加人数 1,393人 【行政職員向け研修】 ・講座数 6講座（6日間） ・参加人数 229人 【市民向け研修】 ・開催日数 2講座（49日間） ・参加人数 1,539人	A
	21	社会福祉法人等への指導監督	関係法令、通知による法人運営、事業経営の指導事項について監査を行い、運営全般について助言、指導を行うことにより、適正な法人運営と円滑な社会福祉事業等の経営の確保を図ります。	保健福祉総務課	引き続き、社会福祉法人等へ指導監督を実施します。 ・監査予定 社会福祉法人 51法人 社会福祉施設等 353施設 介護保険施設等 105施設	社会福祉法人等へ指導監督を実施しました。 ・監査実績 社会福祉法人 51法人 社会福祉施設等 348施設 介護保険施設等 103施設	A

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【 施 策 の 方 向 性 】	1 利用しやすいサービスの実現						
	（3）サービスの質向上と提供体制の充実						
	22	在宅医療と介護の連携	訪問診療を行う医師の育成や「（仮称）市認定在宅介護対応薬局」※の確保、訪問歯科診療事業の拡充などにより、市民が在宅で医療を受けるための基盤整備を行うとともに、医療・介護関係者の連携やスキルアップなどを図ります。 また、家族介護者の介護方法に関する相談を行う「家族介護者支援センター」を設置するとともに、家族介護者が特に困難を感じている介護技術について、訪問介護事業者などが要介護（要支援）者等宅を訪問し、介護技術の講習を実施します。 ※ 在宅医療・介護の相談や訪問に応じる市が認定した薬局	在宅医療・介護連携支援センター	引き続き、同行訪問研修や在宅医療・介護対応薬剤師認定事業の実施及び訪問歯科診療事業の周知に努めます。	訪問診療を行う医師に対して同行訪問研修を実施するほか、一定の研修等を受講した薬剤師を「千葉市在宅医療・介護対応薬剤師」として認定した。また、各区多職種連携会議で在宅医療介護関係者に対し、訪問歯科診療事業の周知に努めた。 ・千葉市在宅医療、介護対応薬剤師認定者数 116人	A
	23	あんしんケアセンターの機能強化（再掲）	高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられるよう、高齢者やその家族に対する総合的な相談・支援、要介護状態の軽減や悪化防止のための介護予防ケアマネジメント、権利擁護事業など、地域包括ケアの中心を担う総合的な窓口として機能の充実に努めます。	地域包括ケア推進課	【あんしんケアセンター】 6区中3区の保健福祉センター高齢障害支援課に包括3職種（保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャー）を配置し、あんしんケアセンター（地域包括支援センター）の支援体制整備を行います。 個別ケースの対応支援及び地域ケア会議や地域介護予防活動支援等の地域活動の支援を行います。	【支援体制整備】 3区（花見川・稲毛・緑）の保健福祉センター高齢障害支援課にあんしんケアセンター支援担当職員を配置し、個別ケース対応、地域ケア会議開催支援、地域介護予防活動支援等のあんしんケアセンターを支援する体制を整備した。 【センター増設】 ・平成29年4月1日から30か所（出張所2か所含む）に増設した。 【包括3職種（保健師職・社会福祉士・主任ケアマネジャー）の配置】 ・高齢者人口に応じ、包括3職種の人数を109人→137人に増員した。 【資質向上、平準化】 ・各関係機関との連携を図るため、会議・研修を実施した。 ○会議開催数 11回 ○研修開催数 3回	A
	24	生活支援・介護予防サービスの基盤整備の推進	地域に不足するサービスの創出や多様なサービスの担い手の育成及び関係者間の情報共有などに取り組む生活支援コーディネーターの配置、多様な関係主体の連携・協働を推進する協議体の設置、リハビリテーション専門職の地域活動の場への派遣など、介護保険法の改正に対応した新しいサービスを段階的に実施します。	地域包括ケア推進課	生活支援コーディネーターを各区に2名ずつ配置します。 区協議体設置に向け、区研究会として保健福祉センター関係課、社会福祉協議会、あんしんケアセンターで構成される小さな協議体において検討を進めます。	第1層の生活支援コーディネーターを各区に2名ずつ配置した。 （市域の協議体は2回開催） 区地域振興課、保健福祉センター高齢障害支援課及び健康課、社会福祉協議会、あんしんケアセンター等で構成される区協議体を各区1回の計6回開催した。	A
	25	介護人材の確保と定着の取組み（介護職員初任者研修受講者支援）	介護職員初任者研修を修了し、かつ介護施設等で就業している方を対象に、資格取得に要した経費の一部を助成します。	介護保険管理課	引き続き、介護職員初任者研修の受講費用の一部を助成し、市内の介護施設などにおける人材の確保に努めます。 ・助成人数 100人	介護職員初任者研修を修了し、かつ介護施設などで就業している方を対象に、受講に要した経費のうち半額（上限50,000円）を助成した。 ・助成人数 33人（総額1,190,600円）	C
	26	介護相談員派遣事業の充実	介護相談員が、介護保険施設などの事業所を訪問し、利用者や家族の相談に応じることにより、利用者と事業者の橋渡しをしながら、問題の改善やサービスの質の向上を目指します。	介護保険事業課	引き続き、月1回、2人一組で57事業所の訪問を実施します。 相談員と介護保険事業課の連絡会議を年11回、相談員と受入事業所、介護保険事業課の意見交換会を年1回開催します。 5月に22事業所の入れ替えを実施します。	月1回、2人一組で57事業所を訪問した。 介護相談員と介護保険事業課の連絡会議を年11回、介護相談員と受入事業所、介護保険事業課の意見交換会を年1回開催した。 5月に19事業所の入れ替えを実施した。	A
	27	保健福祉センターの活用	市民一人ひとりの保健福祉ニーズにあわせた相談からサービス提供までを総合的かつ一体的に行うとともに、地域保健福祉活動の場を確保します。	保健福祉総務課	引き続き、保健福祉ニーズにあわせた相談からサービス提供までを総合的・一体的に行うよう努めます。	保健福祉センターでは、関係各課が連携し、保健・福祉についての相談に応じるとともに、サービスを提供した。 社会福祉協議会区事務所では、地域のボランティア活動の拠点として、会議室等の貸し出しを行った。	A

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【施策の方向性】	2 暮らしを守る取組み						
	（4）人権を尊重する取組み						
	28	人権週間等における人権啓発活動	人権週間（12月）等における啓発活動を通して、すべての人の人権が尊重される社会の実現を目指します。	男女共同参画課	引き続き、人権週間において「ちばハートフル・ヒューマンフェスタ2017」を開催します。	第69回人権週間（12月4日～12月10日）の関連行事として、「ちばハートフル・ヒューマンフェスタ2017」を開催し、人権尊重の理念に関する正しい理解と人権尊重思想の普及高揚を図った。 【ちばハートフル・ヒューマンフェスタ2017】 ・日時 平成29年12月5日（火） 13:00～16：00 ・内容 特別講演、コンサート ・参加者数 590人	A
	29	日常生活自立支援事業・法人後見事業への支援	判断能力が不十分な方が、住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるよう、千葉市社会福祉協議会が実施している福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理を行う「日常生活自立支援事業」について、利用促進を図るための支援を行います。 また、法人として成年後見等の業務を受任する「法人後見事業」の実施を支援します。	地域福祉課	引き続き、市社協に対して補助金を交付するとともに、必要な支援を行います。	市社協に対して補助金を交付するとともに、ホームページ等で事業の周知を図り、利用促進のための支援を行った。 【事業実績】 ＜日常生活自立支援事業＞ ・相談件数 7,724件（うち新規相談件数 158件） ・支援件数 242件（うち新規支援件数 68件） ※支援内容 福祉サービスの利用援助、日常的な金銭管理、書類等の預かり ＜法人後見事業＞ ・受任件数 25件（市長申立：17件 それ以外：8件）	A
	30	認知症施策の推進	認知症に関する正しい知識・理解の普及、早期発見・早期対応を図るため、認知症の進行に伴い生じてくる症状や医療・介護サービスなどの情報をまとめた「標準的な認知症ケアパス」を作成し、配布します。	地域包括ケア推進課	「千葉市認知症ケアパス」の内容充実に向け、引き続き取り組みます。	認知症ケアパスの普及と啓発のため、認知症地域支援推進員及び認知症コーディネーターが中心となり、地域住民を対象とした講演会を2回実施した。 認知症ケアパスの一部改定を行い、20,000部作成し配布した。	A
	31	成年後見制度の利用促進	判断能力が不十分な方が、住み慣れた地域で安心して自立した生活を送れるように、千葉市成年後見支援センターを拠点とし、成年後見制度の普及・啓発を図ります。	地域包括ケア推進課	講演会の開催や出前講座への講師派遣等の実施やチラシの作成・配布等の周知活動を行います。また、市民後見人を養成するための研修を行い、研修修了者を後見人等候補者として登録するとともに、登録者に対してフォローアップ研修を行います。	・成年後見制度講師派遣等 46回 ・チラシの作成・配布 26,000部 ・市政だよりを活用した周知	A
	32	高齢者虐待への対応	あんしんケアセンターを窓口とした関係機関との連携強化を図り、高齢者虐待の防止、虐待の早期発見、早期対応、保護、支援に至るまでの取り組みを行います。	地域包括ケア推進課	引き続き、事例検討会・研修会や高齢者虐待防止連絡会を開催（隔年）し、高齢者虐待への対応を図ります。	養介護従事者（施設職員や介護職員）に対して、高齢者権利擁護・身体拘束廃止研修を実施した。 ・新任職員研修 1回 ・専門実践研修 3回 あんしんケアセンター及び各区高齢障害支援課の高齢者虐待担当者を対象とした高齢者虐待対応研修会を開催した。 ・高齢者虐待対応研修会（経済的虐待） 1回	A
	33	障害者虐待への対応	障害者の権利・尊厳を脅かす虐待を防止するとともに、障害者を養護している家族等（養護者）が介護疲れなどの原因で虐待を行わないよう、養護者を支援します。	障害者自立支援課	引き続き、実施します。	実施した。	A

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【施策の方向性】	2	くらしを守る取組み					
		（４）人権を尊重する取組み					
	34	児童虐待・DVへの対応	民生委員・児童委員、小中学校や特別支援学校の教諭を対象とした研修会の実施、暴力によらない子育ての周知等、児童虐待の発生防止に向けた取組みを行います。 また、児童虐待及びDVの発生予防と早期発見・早期対応の一層の推進を図るため、要保護児童対策及びDV防止地域協議会を開催し、関係機関との連携を図ります。	こども家庭支援課	小中学校教諭向けに人権教育を実施します。（所管：教育委員会教育指導課、DV防止計画関係取りまとめ：こども家庭支援課） 一般市民向けのCSP講座を実施します。 要保護児童対策及びDV防止地域協議会を開催し、児童虐待・DVケースに関して関係機関との連携を図ります。	小中学校教諭向けに人権教育を実施した。（所管：教育委員会教育指導課、DV防止計画関係取りまとめ：こども家庭支援課） 要保護児童対策及びDV防止地域協議会を開催し、関係機関との連携を図った。 ・代表者会議 1回 ・実務者会議 18回 ・個別ケース検討会議 247回	A
	35	児童虐待防止推進月間における啓発活動	児童虐待防止推進月間（11月）における啓発活動（オレンジリボンキャンペーン）を通じて、児童虐待問題についての関心と理解を深め、児童虐待防止に向けた協力を呼びかけます。	こども家庭支援課	リーフレットの作成・配布、JR、モノレール駅でのポスターの掲示、bayfmラジオでの啓発CMの放送を実施します。	児童虐待防止推進月間（11月）に、啓発活動（オレンジリボンキャンペーン）を実施し、オレンジリボンと児童虐待問題について関心と理解を深めた。 【啓発活動】 ・リーフレットの作成、配布 ・JR、京成電鉄、モノレール駅へのポスターの掲出 ・bayfmラジオでの啓発CMの放送	A
	36	保育施設における児童虐待への対応	保育施設内の児童虐待を防止するため、保護者や施設職員からの通報を市ホームページ上で受け付け、施設への立ち入り調査や指導など速やかに対応します。	幼保運営課	通報が入った際は、即日、施設を訪問し立ち入り調査・指導を行います。	虐待通報システムの通報や保護者等の申し出に対し、即日、施設へ立ち入り調査を行い、虐待の有無を確認した。 虐待が確認された時は職員に対する指導と園に対する改善通知、定期的な巡回指導を実施。また、虐待ではないケースについては虐待と誤解されやすい行動には気を付けるよう指導した。	A
		（５）要支援者への支援					
	37	避難行動要支援者への対応	介護認定を受けるひとり暮らし高齢者や障害者等、災害時の避難行動に支援を要する方に関する情報を、市と自主防災組織・町内自治会等が共有するなど、支援体制の構築を促進します。	防災対策課	引き続き、多くの団体に名簿情報が提供されるよう説明会等を実施し、地域における災害時の避難行動要支援者の支援体制の構築を推進します。	災害時の避難行動に支援を要する方（要支援者）の情報を記載した名簿を作成し、町内自治会等の地域団体より申請があった場合に、協定を締結し、掲載拒否者を除いた名簿を提供している。 名簿提供団体は、要支援者の支援体制構築に努めている。 ・名簿提供団体数 262団体（H30、3月末現在）	B
	38	孤独死防止通報制度の運用	日常的に地域を回っているライフライン事業者や配達事業者等の協力により、高齢者宅等の異変を通報してもらい孤独死・孤立死の防止を図ります。	地域福祉課	引き続き、制度を実施するとともに、協力事業者の拡大を図ります。	平成25年度にライフライン事業者や配達事業者など5事業種14事業者と協定を締結し、「千葉市孤独死防止通報制度」を開始した。 その後も協定締結事業者の増加を図り、平成29年度末現在、33事業者と協定を締結している。（平成29年度の新規締結は1件） また、平成30年1月30日、連絡会議を開催し、市、協力事業者、警察、消防で意見交換を行った。 ・通報件数 29件（生存確認19件、死亡確認8件、その他2件）	A
	39	安心電話・緊急通報装置の設置、SOSネットワークの整備	ひとり暮らしの高齢者に対する、電話による安否確認や緊急通報装置を設置します。	高齢福祉課	引き続き、電話による安否確認や緊急通報装置の設置を実施します。	【安心電話】 ・利用者数 282人 【緊急通報】 ・利用者数 3,514人	A
			また、認知症高齢者が徘徊により行方不明になった場合の警察と市関係機関等によるネットワークを整備します。	地域包括ケア推進課	引き続き、徘徊高齢者の早期発見に係る警察との連携を図ります。	【徘徊高齢者SOSネットワーク】 ・市内利用件数 65件	

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【 施 策 の 方 向 性 】	2	くらしを守る取組み					
		（5）要支援者への支援					
	40	精 神 科 救 急 医 療 シ ス テ ム	夜間・休日を含め精神疾患の急激な発症や精神症状の急変に対応するため、24時間の相談に応じるとともに、必要な医療施設を確保します（千葉県との共同運営事業）。	精神保健福祉課	引き続き、夜間・休日を含め精神疾患の急激な発症や精神症状の急変に対応するため、24時間の相談に応じるとともに、必要な医療施設を確保します。	夜間・休日を含め精神疾患の急激な発症や精神症状の急変に対応するため、24時間体制により、必要な医療施設を確保した。 ・措置入院 80件（うち緊急措置入院28件）	A
	41	応 急 手 当 普 及 啓 発 事 業	応急手当のできるバイスタンダー※を育成することで、要援護者、社会的弱者など市民全体の生命を守り、救命率の向上を図ります。 ※ bystander：救急現場に居合わせた人（発見者、同伴者等）	救急課	引き続き、応急手当のできるバイスタンダーを育成します。	関連団体と連携して救命講習会を開催し、応急手当のできるバイスタンダーの育成を推進した。 ・救急講習受講者数 40,871人	S
		（6）生活困窮者への支援					
	42	千 葉 市 生 活 自 立 ・ 仕 事 相 談 セ ン タ ー	生活保護に至る前の自立支援策の強化を図るとともに、生活保護から脱却した人が再び生活保護に頼ることのないよう、生活に困窮した方の悩みに応じた対応を行います。	保護課	引き続き、経験豊富な相談員がひとり一人の悩みに応じた解決策を考え、寄り添いながら対応します。 平成29年7月1日に市内3か所目の千葉市生活自立・仕事相談センターを設置し、相談体制を拡充します。	平成29年7月に市内3か所目の千葉市生活自立・仕事相談センターを設置した。その結果、同センターの新規相談者数は246人増（26%増）となり、より多くの方の相談に応じることができた。 なお、支援により、住まいの確保・安定、就労開始、自立意欲の向上・改善等の効果が生じた。 ・利用者数 延べ9,905人（実数1,191人） ・主な相談内容 経済的困窮、就職活動困難等	A
	43	ホ ー ム レ ス 対 策	巡回相談員による生活実態等の把握を行います。	保護課	巡回相談員（2人）による定期的な訪問・面接を引き続き実施します。 平成28年4月に策定した「千葉市ホームレスの自立の支援等に関する第2次実施計画」に基づき支援を行います。	巡回相談員（2人）が定期的な訪問・面接を行い、生活実態の把握及び必要な支援の実施に努めた。	A

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【施策の方向性】	3 民間との連携協働と活動支援						
	（7）民間との連携とコミュニティビジネスの促進						
	44	民間等との包括提携協定	UR都市機構や民間企業、研究機関、大学等と包括的に連携し、高齢者や子育て世帯等に配慮したまちづくりの推進や市民サービスの向上・地域の活性化を図ります。	政策調整課	引き続き、花見川団地において、URと地域のアクションプラン策定に向けたUR・市・地元関係者等による検討会に参加します。	URが実施している、団地を活用した地域医療福祉拠点の形成に向けた取り組みの中で、花見川団地において、UR・市・地元関係者等による会議に参加し、団地の現状及び課題の把握、取組みの方向性を整理した。 平成30年2月に「花見川団地地域安心居住プラン」が策定された。	A
				経済企画課	引き続き、民間企業等と締結した協定等に基づき、企業・大学や関係課との連携し、市民サービスの向上・地域活性化に努めます。	民間企業等と締結した協定に基づき、市民サービスの向上・地域活性化に取り組んだ（デパート等に期日前投票所の設置等）。 ※包括提携協定としての取組みではないが、企業と連携し、花見川区・緑区において移動販売車の事業の社会実験を行った。	
	45	公益活動団体の連携促進	市民活動支援センターにおいて、市民公益活動を行っている団体に対する情報発信や団体相互の情報交流の推進に努め、団体間のネットワーク構築を支援します。	市民自治推進課	登録団体と協力し引き続き事業を実施します。 市民活動フェスタでは、前年度より団体間の交流や情報発信が行われるような工夫をします。	・ニュースレターの発行（奇数月） ・メールマガジンの配信（メール版24回、FAX版5回） ・メーリングリストによる情報発信（通年） ・市民活動フェスタの開催（11月18日・19日） ・団体交流会の実施（4回）	A
	46	民間企業と連携した高齢者の見守り支援	民生委員や町内自治会など地域による見守り活動に加え、新たに民間企業と連携し高齢者の見守り支援の強化を図ります。	高齢福祉課	引き続き、関係課と連携して見守り体制の強化を図ります。	民間企業と締結した協定・覚書に基づき、高齢者の見守り体制の強化を図りました。	A
	47	コミュニティビジネスの支援	コミュニティビジネスの普及・促進のための環境づくり、支援事業を行います。	産業支援課	引き続き、コミュニティビジネスシンポジウムを開催するとともに、情報コーナーの活用を促進します。	コミュニティビジネスシンポジウムを開催し、創業を目指す方向けに市コミュニティビジネス推進協議会のネットワークを活用した相談を受け付けた。	A
	（8）千葉市社会福祉協議会の活動支援						
	48	コミュニティソーシャルワーカーの活動支援	市社協各区事務所に配置されているコミュニティソーシャルワーカー※の活動を促進させるため、関係部門との調整等の支援を行います。 ※ 地域における福祉ニーズを早期に発見し、その解決のために、個別支援や地域づくりに関する企画・提案、関係機関との連絡調整等を行う、地域福祉のコーディネーター	地域福祉課	引き続き、市社協に対して補助金を交付するとともに、必要な支援を行います。	市社協に補助金を交付するとともに、コミュニティソーシャルワーカー担当者会議に市職員も出席し、活動促進のための助言を行った。また市社協が行うコミュニティソーシャルワーカーの活動を促進させるため、関係部門との調整等の支援を行った。 【コミュニティソーシャルワーカーが関与したサロン・見守り・支え合い活動立上げ実績】 ・サロン活動 15件 ・見守り活動 5件 ・支え合い活動 1件 ・子ども食堂 1件 ・認知症声かけ訓練 3件 【個別支援実績】 ・支援ケース数 108件（うちH29新規 84件）	A

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【施策の方向性】 【取組項目】	3 民間との連携協働と活動支援						
	（8）千葉市社会福祉協議会の活動支援						
	49	区計画推進のための連携	区計画を推進するため、市と市社協がそれぞれの組織の特性を生かし連携・協力しながら、地域の取組みを支援します。	地域福祉課	引き続き、各区支え合いのまち推進協議会において意見交換等を行い、市社協と連携・協力しながら、地域の取組みを支援します。	市社協に補助金を交付するとともに、区計画の推進のため、各区支え合いのまち推進協議会において、地域活動の事例紹介や意見交換等を行いました。また、推進協だよりの発行等、地域の取組みを支援した。 【各区支え合いのまち推進協議会】 ・開催回数 延べ22回 【推進協だより】 ・発行回数 延べ11回	A
	50	市社協の活動支援	地域福祉の推進を図ることを目的とする市社会福祉協議会がその役割を十分に果たせるよう、法人運営の支援や各種事業に対する助成を行います。	地域福祉課	引き続き、市社協に対し、補助金を交付するとともに、必要な支援を行います。	市社協に補助金を交付するとともに、広報、後援等、必要な支援を行った。（事業については、No29、48、49、77、85、112、114、115、126を参照）	A
	4 交流の機会創出と社会参加の促進						
	（9）交流の機会創出と社会参加の促進（取組みテーマ①）						
	51	地域福祉交流館の運営	地域福祉活動を促進するため、子どもから高齢者まで広く市民が利用できる施設として、小中台地域福祉交流館と犢橋地域福祉交流館を運営します。	地域福祉課	引き続き、小中台地域福祉交流館、犢橋地域福祉交流館を運営し、地域福祉の推進を図ります。	小中台地域福祉交流館、犢橋地域福祉交流館を運営し、地域福祉の推進を図った。 【小中台地域福祉交流館】 ・利用率 29.8% 【犢橋地域福祉交流館】 ・利用率 63.0%	A
	52	老人クラブ活動の充実強化	老人クラブの活動を通じ、高齢者の生きがいづくりや健康づくりに係る各種事業、社会奉仕活動を促進するとともに、リーダーを育成するための指導者研修等を充実します。	高齢福祉課	引き続き、老人クラブの各種活動、社会奉仕活動を促進するとともに、リーダー育成のための指導者研修会を開催します。 ※平成30年2月に予定。 【参加人数 約300名】	老人クラブの生きがいづくりや健康づくりに係る各種活動、社会奉仕活動を促進した。 老人クラブ活動のリーダーを育成するための指導者研修会を平成30年3月に実施した。 ・参加人数 約300名	A
	53	シルバー人材センターの充実	高齢者の就業機会の確保、生きがいの充実、健康と福祉の増進を図るため、市民や企業に対して、千葉市シルバー人材センターのPRを積極的に行います。	高齢福祉課	引き続き、就業機会の拡大、会員の資質向上を図ります。	【就業機会の拡大】 就業機会創出員等の配置、リーフレット・チラシのポスティングや配布、広報誌等を活用したPR活動を推進し、受注の確保を図った。 【会員の資質の向上】 各種講習会や研修会を実施したほか、モラル・マナーについての接遇研修を実施した。	A
	54	いきいきプラザ・センターの運営	高齢者が健康で生きがいのある生活が送れるよう、健康づくり、各種相談、教養の向上、レクリエーション、介護予防などの場を提供する「いきいきプラザ」及び「いきいきセンター」を運営します。	高齢福祉課	高齢者の健康と生きがいを高め、余暇活動や自主的な活動の活性化を図ることのできる講座や講演会、レクリエーション活動等の促進を図ります。 ・利用者数 延べ652,421人	【いきいきプラザ・センター】 ・利用者数 延べ628,343人	A
	55	いきいき活動外出支援事業	高齢者の社会参加促進を図ることを目的に、高齢者団体が実施する研修、視察、ボランティア活動等の自主的な活動のため、民間バスを借り上げた場合に、その費用の一部を助成します。	高齢福祉課	引き続き、高齢者団体の外出支援補助を行います。 ・利用団体数 延べ287団体 ・利用者数 延べ9,993人	高齢者団体の研修活動を補助し、高齢者の社会参加を促進した。 ・利用団体数 延べ263団体 ・利用者数 延べ8,292人	A
	56	介護支援ボランティア制度の運用	高齢者が高齢者施設などでボランティア活動を行った場合に、介護保険料や介護サービス利用料などに充てることができるポイントを付与し、介護予防の促進や社会活動参加などを支援します。	介護保険管理課	引き続き、介護支援ボランティア登録者数の増加を図ります。（登録研修は年3回程度開催予定。）	・介護支援ボランティア登録者数 2,115人 ・登録研修 3回	A
	57	障害者の就労支援	一般就労を希望する障害者に対して、就職前に企業等で一定期間の実習を行う障害者職場実習事業を実施するなど、就労を希望する障害者を支援します。	障害者自立支援課	引き続き、障害者職場実習事業を実施します。	【職場実習事業】 ・利用人数 6人	B
	58	トイライブラリー運営事業	心身障害児がおもちゃを通じて遊ぶことにより、機能回復及び能力発達を促進します。	障害者自立支援課	引き続き、実施します。	市内の社会福祉法人に委託して、2か所でトイライブラリー事業を行った。 ・延利用人数 235人 ・延貸出件数 44件	A

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【施策の方向性】	4	交流の機会創出と社会参加の促進					
		（9）交流の機会創出と社会参加の促進（取組みテーマ①）					
	59	障害者スポーツ大会等の開催	障害者の社会参加はもとより、健康づくりや生きがいづくりを促進するため、激励会の開催、スポーツ活動の機会の確保、全国障害者スポーツ大会への参加支援などを実施します。	障害者自立支援課	【激励会】 引き続き、実施します。 【全国障害者スポーツ大会】 平成29年10月28日から30日にかけて愛媛県で開催される全国障害者スポーツ大会に、千葉市代表選手団を結成し派遣します。（派遣期間は10月26日から31日）	【激励会の実施】 スポーツを通して、市内の特別支援学級及び特別支援学校の児童生徒が、お互いの親睦と交流を図った。 【全国障害者スポーツ大会】 千葉市代表選手団（44人）を結成し、練習会を実施するとともに、結団式を行ったうえで、10月28日から30日に愛媛県で開催された大会に、選手団を派遣した。（派遣期間は10月26日から31日）	A
	60	地域活動支援センターの運営支援	創作的活動や生産活動、社会との交流促進など多様な活動の場を提供するとともに、地域の障害者等の福祉に関する相談に応じ、必要な情報提供や援助を行う地域活動支援センターの運営を支援します。	障害福祉サービス課	引き続き、Ⅰ型は市内の社会福祉法人に委託して実施し、Ⅱ型・Ⅲ型は事業者に対する補助を行います。	Ⅰ型※については、市内の社会福祉法人に委託して6か所で実施した。 Ⅱ型・Ⅲ型※については、市内13か所の事業者に対し運営補助を行った。 ※地域活動支援センターⅠ型…精神保健福祉士等の専門職員を配置し、医療・福祉・地域の社会基盤との連携強化のための調整等を行う ※地域活動支援センターⅡ型・Ⅲ型…機能強化として機能訓練、社会適応訓練等を行う。	A
	61	障害者福祉センター・療育センター・ふれあいの家における各種講座の開催	障害者の余暇活動の充実、社会参加へのきっかけづくり、文化・教養の向上、リハビリテーションなどを目的に、様々な障害特性に対応した創作的活動、スポーツ・レクリエーション等の講座を開催します。	障害福祉サービス課	引き続き、各種講座を開催します。	【障害者福祉センター】 ・創作的活動 3,209人（26講座） ・スポーツ・レクリエーション等 4,017人（14講座） 【療育センターふれあいの家】 ・創作的活動 1,775人（11講座） ・スポーツ・レクリエーション等 3,947人（7講座）	A
	62	長柄げんきキャンプ	少年自然の家で市立小・中学校の特別支援学級及び特別支援学校の児童・生徒による宿泊学習を行います。	教育委員会 教育指導課	特別支援学校、小・中学校の特別支援学級に通う約1,000名の児童生徒が、千葉市少年自然の家の宿泊体験活動に参加する予定です。 ・参加学校 特別支援学校 2校 小学校 89校 中学校 38校	特別支援学校、小・中学校の特別支援学級に通う1020名の児童生徒が、千葉市少年自然の家で宿泊体験活動に参加した。 ・参加学校数 特別支援学校2校 小学校88校 中学校36校 ・実施期間 5月24日～平成30年1月19日	A
	63	こどもカフェの運営	学校等の公共施設や空き店舗等を活用し、「子どもに信頼される大人」が見守る中で、気軽に相談したり、一緒に勉強したり、また、仲間と遊んだりすることができるなど、子どもたちにとって居心地の良い居場所となる「こどもカフェ」を運営します。	こども企画課	引き続き、2か所で「こどもカフェ」のモデル運営を継続していくとともに、地域との連携を強化するための連絡会議等を開催します。 地域団体による運営開始から4年が経過した「高洲地区こどもカフェ」については、これまでの検証を行い、今後の運営方法について再検討します。	市内2か所で運営を委託 【高洲こどもカフェ】 地域団体「みはま子育てミニフォーラム」に委託 ・実施回数 毎週日曜日 48回実施 【園生こどもカフェ】 NPO法人「VAICコミュニティケア研究所」に委託 ・実施回数 毎週火曜日と木曜日 96回実施 カフェのスタッフやボランティア、市民を対象にこどもの参画について啓発を図るとともに、カフェの運営に係る理解を深めるため、子どもの居場所サポーター養成講座を実施した。	A
	64	子ども交流館	「遊び・創造・憩い」を通して、子どもたちに健全な遊びと居場所を提供し、子どもの健全な育成と交流を図るとともに、中学・高校生で構成し施設の利用方法などを検討する「子ども運営委員会」を設置するなど、子どもの自主的活動の支援等を行います。	こども企画課	一人でも多くの子どもたちに、健全な遊びと居場所を提供するとともに、「子ども運営委員会」の活動を支援し、自主的な社会参画を促します。	【子ども交流館】 こどもに居場所を提供するとともに、居場所の運営に直接参画させる「子ども運営委員会」を毎月1回開催し、市の将来を担う子どもたちの自主的活動の支援等を実施した。 ・来館者数 156,967人	A

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【施策の方向性】	4	交流の機会創出と社会参加の促進					
		（9）交流の機会創出と社会参加の促進（取組みテーマ①）					
	65	放課後子ども 教室推進事業	小学校の施設を活用して、放課後の子どもたちの安全・安心な活動拠点（居場所）を設け、地域の多様な人々の参画を得て、さまざまな体験・交流活動を実施します。	教育委員会 生涯学習振興課	引き続き、市内110校（2校統合）で実施します。 また、1校で子どもルームとの一体型事業を実施します。	市内110校で実施。 ・実施日数 2,173日 ・参加児童数 6,922人	A
	66	子育て支援館 の運営	子育て親子のふれあいの場を提供するほか、子育てコーディネーターが各種子育てサービスの情報収集、インターネット等を活用した情報提供を行います。	幼保支援課	引き続き、子育て親子のふれあいの場の提供、各種子育てサービスの情報収集、情報提供及び子育てに関する相談の対応にあたります。	【子育て支援館】 ・来館人数 67,847人	A
	67	地域子育て支援センター、 子育てリラックス館の運営 （再掲）	子育て親子のふれあいの場の提供、交流の促進、保育士や子育てアドバイザーによる子育てに関する相談指導・援助、講習の実施、地域の子育て関連情報の提供などを行います。	幼保支援課	引き続き、子育て親子のふれあいの場の提供、交流の促進、保育士や子育てアドバイザーによる子育てに関する相談指導・援助、講習の実施、地域の子育て関連情報の提供などを行います。	【地域子育て支援センター】 ・利用人数 73,479人（市内7か所） 【子育てリラックス館】 ・利用人数123,360人（各区2か所ずつ、12か所）	A
	68	保育所（園） 地域活動事業	市内すべての認可保育所（園）において、世代間交流、異年齢交流、育児講座等を実施します。	幼保運営課	引き続き、保育所（園）、認定こども園、地域型保育事業施設220施設で交流機会の提供や育児講座の開催、地域活動事業、所（園）庭開放を実施するとともに、子育てに関する情報収集及び提供、相談活動を行います。	保育所（園）、認定こども園、地域型保育事業施設220施設で交流機会の提供や育児講座の開催、地域活動事業、所（園）庭開放を実施するとともに、子育てに関する情報収集及び提供、相談活動を行った。	A
	69	母子家庭等の 就業自立支援	ひとり親家庭等が、自立した生活を送ることができるよう、就業相談や就業支援講習会を実施するほか、就労に有利な資格の取得を支援するため、「自立支援教育訓練給付金事業」や「高等職業訓練促進給付金事業」を実施します。	こども家庭支援課	引き続き、就業相談、就業支援講習、「自立支援教育訓練給付金事業」、「高等職業訓練促進給付金等事業」及び「ひとり親家庭高等学校卒業程度認定試験合格支援事業」を実施します。	就業相談や就業支援講習会（パソコン基礎講習、エクセル応用講習）を実施したほか、就労に有利な資格の取得を支援するため、「自立支援教育訓練給付金事業」、「高等職業訓練促進給付金事業」及び「高等職業訓練促進資金貸付事業」を実施した。	A
	70	学校支援地域 本部事業	地域の教育力を生かし、学校教育の充実や地域コミュニティの活性化を図る、学校支援地域本部事業を推進します。	教育委員会 学事課	これまで実地している6校での継続、および新たに4地区10校で事業を実施する。（計6地区で実施）	平成28年度までの2地区6校（磯辺小、磯辺中、誉田小、誉田東小、誉田中、磯辺三小）に加え、29年度は白井中、白井小、松ヶ丘中、松ヶ丘小、仁戸名小、千草台中、千草台小、こてはし台中、こてはし台小、横戸小の10校でも事業を開始した。学習活動等に多くの地域ボランティアの支援があり、教育活動が充実した。	A

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【 取 組 目 の 方 向 性 】	4 交流の機会創出と社会参加の促進						
	（10）健康づくり（取組みテーマ②）						
	71	学 校 体 育 施 設 開放事業	学校体育施設を開放し、市民の体力づくり及びコミュニティ活動の振興を図り、市民が手軽に多様なスポーツ・レクリエーションを行える場を提供します。	スポーツ振興課	引き続き、市内の小・中学校の学校体育施設を開放し、市民にスポーツ・レクリエーション活動の場を提供します。 （学校プールの開放は終了）	市民の体力づくりやコミュニティ活動の振興を図るため、市内の小・中学校施設を開放し、市民が手軽に多様なスポーツ・レクリエーション活動を行えるよう、活動の場を提供した。 ・校庭、体育館の開放 小学校111校、中学校54校 ・武道館の開放 中学校26校 ・夜間校庭の開放 中学校6校 （小・中学校施設利用者 延べ2,275,282人）	A
	72	健 康 づ くり 事 業	市内に所在する地区組織、事業所等が行う健康づくりにポイントを付与し、規定のポイントで景品や認証などのインセンティブを授与することにより生活習慣の改善を促すとともに、地域組織活動の推進による絆づくりを促進します。	健康支援課	事業所向けの取組みは、地域・職域連携推進事業の中で展開する。引き続き、市内事業所への情報発信や地域・職域連携推進部会での取組みの検討を行い、職場での健康づくりの普及・啓発に取り組みます。 新規で参加する団体が増えるよう、地域の運動自主グループや自治会等の地区組織にチラシ及びポスターで事業の周知及び利用促進を図る。基準を満たした活動を3年間継続している団体で、今後も活動を継続する意思のある団体に対し、表彰を行います。	市内の事業所に対し、パンフレットの送付などを行い、普及・啓発に努めた。一定以上の健康づくりに取り組む「健康づくり推進事業所」は42事業所となった。 地域の運動自主グループや自治会等の地区組織が行った健康づくりをポイントに換算し、既定のポイントに達した団体に対し景品の抽選に参加でき、当選団体には、景品等を送付した。 ・参加団体 82団体（当選団体数：70団体）	A
	73	ヘルスサポーターの養成	家庭や身近な地域の中で、健康づくりを実践する仲間づくりを進めるヘルスサポーターを養成します。	健康支援課	各区保健福祉センター等で12コース、48回の教室を実施します。 教室の実施後に「おさらい会」を行い、教室修了者の健康づくりのための運動を継続できるよう支援します。	各区保健福祉センター等で12コース、48回の教室を実施した。 また、教室の実施後に「おさらい会」を行い、教室修了者の健康づくりのための運動を継続できるよう支援した。 ・養成者数 169人	A
	74	食生活改善推進員の養成	地域の健康づくりのために、「食」を通したボランティア活動を行う食生活改善推進員（愛称「ヘルスメイト」）を養成します。	健康支援課	緑区健康課において、養成講座（9月～2月 6回コース）を開催します。	緑区健康課において、養成講座を実施した。 ・参加者数 延146人（6回コース） 26人のヘルスメイトを養成	A
	5 支え合いの仕組みづくり						
	（11）相談体制と情報提供の充実（取組みテーマ③）						
	75	地 域 福 祉 に 関 する情報提供	各区支え合いのまち推進協議会における事例紹介や各区支え合いのまち推進協議会が発行する推進協だより、また、多様な媒体を活用した本計画の周知により、地域福祉に関する情報を提供します。	地域福祉課	引き続き、各区支え合いのまち推進協議会において事例紹介、意見交換、広報誌発行等を行います。	各区支え合いのまち推進協議会において、地域活動の事例紹介や意見交換、推進協だよりの発行等を行った。 【各区支え合いのまち推進協議会】 ・開催回数 延べ22回 【推進協だより】 ・発行回数 延べ11回	A
	76	民生委員・児童委員活動への支援	民生委員・児童委員が地域において円滑で有効な活動を実施できるよう、民生委員児童委員協議会の活動をサポートするとともに、研修内容の充実に努めます。	地域福祉課	【全体研修会】 ・参加者数 1,500人 【地区民児協会長・副会長研修】 ・参加者数 200人	【全体研修会】 ・参加者数 1,185人 【地区民児協会長・副会長研修】 ・参加者数 207人	A

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【施策の方向性】	5 支え合いの仕組みづくり						
	（11）相談体制と情報提供の充実（取組みテーマ③）						
	77	ボランティアに関する情報の発信	ボランティアデータベース「ちばぼら」をはじめ、ボランティア関係機関である、千葉市国際交流協会、千葉市ボランティアセンター、ちば生涯学習ボランティアセンター、市民活動支援センター等でボランティア情報の発信・提供を行います。	地域福祉課 市民自治推進課 国際交流課 教育委員会生涯学習振興課	引き続き、市社協に対し、補助金を交付するとともに、ボランティア情報の発信・提供に必要な支援を実施します。 引き続き、市社協、市国際交流協会、市生涯学習センターと協力し、ボランティアデータベースを運用します。 【国際交流協会】 引き続き、ボランティア情報の発信・提供を行うとともに、千葉市国際交流協会が実施する講座やイベント等を通じて積極的に発信・提供を行います。 引き続き、ボランティアフェアを開催し、ボランティアタイムの発行を支援します。	市社協に補助金を交付するとともに、広報等、必要な支援を行った。 【社協実績】 1：各種団体の活動状況をHPに掲載。ボランティアセンターHPアクセス数：18,437件 2：ちば市政だよりへ各種ボランティア講習募集記事の掲載 市社協、市国際交流協会、市生涯学習センターと協力し、ボランティアデータベースを運用。 ※データ件数（H30.3末現在） 募集情報 56件、団体情報 395件、アクセス件数（平成29年度）31,640件 【国際交流協会】 国際交流プラザでの掲示、協会HPやFacebook、市政だより、イベント等の実施、各種研修の開催を通じて情報発信・提供を行った。 【生涯学習センター】 ボランティアフェア2017を開催した。 ボランティアタイムの発行を支援した。 ・ボランティアタイム発行回数 3回	A
	78	地域保健推進員活動	市の委嘱を受けた地域保健推進員が、生後2か月児のいる家庭を訪問し、子育てや家族の健康について相談に応じたり、地域の育児サークルの紹介や母子保健サービス等の案内を行うなど、地域の身近な相談役として、地域と各区保健福祉センター健康課のパイプ役となります。	健康支援課	引き続き、地域の相談役、地域と健康課のパイプ役として活動し、子育て支援に取り組みます。	・地域保健推進員：180名 ・訪問件数：6,408件	A
	79	子育てサポーター・家庭教育アドバイザー配置事業	公民館で活動している子育てサークルや子育てに悩みや不安を持つ親を対象に、気軽に相談できる子育てサポーターを派遣します。また、家庭教育アドバイザー※が、より専門的な立場から相談に応じるほか、子育てサポーターへの助言等も行います。 ※ 臨床心理士等の資格を有する者のうち、家庭教育に関する専門的な知識を身に付けた者	教育委員会生涯学習振興課	子育ての悩みや不安解消のため、子育てサロン事業や各種家庭教育事業について継続的に実施していくほか、子育てサポーターの拡充や研修の実施など、人材育成・確保に取り組みます。	【公民館における活動】 「子育てママのおしゃべりタイム（子育てサロン事業）」 ・140回 2,223人 【各種家庭教育事業】 サポーター研修 2回	A
	（12）要支援者を支える仕組みづくりと地域団体の活性化（取組みテーマ④）						
	80	避難行動要支援者への対応（再掲）	介護認定を受けるひとり暮らし高齢者や障害者等、災害時の避難行動に支援を要する方に関する情報を、市と町内自治会・自主防災組織等が共有するなど、支援体制の構築を促進します。	防災対策課	引き続き、多くの団体に名簿情報が提供されるよう説明会等を実施し、地域における災害時の避難行動要支援者の支援体制の構築を推進します。	災害時の避難行動に支援を要する方（要支援者）の情報を記載した名簿を作成し、町内自治会等の地域団体より申請があった場合に、協定を締結し、掲載拒否者を除いた名簿を提供している。 名簿提供団体は、要支援者の支援体制構築に努めている。 ・名簿提供団体数 262団体（H30.3末現在）	B
	81	地域運営委員会の設立促進	将来にわたり、住民同士の助けあい、支えあいによる地域運営が可能となる体制づくりを進めるため、概ね小～中学校区の広さ毎に、地域で活動する様々な団体で構成される地域運営委員会の設立を進めます。	市民自治推進課	平成29年度末目標 【地域運営委員会】20地区設置 【地域運営交付金】16地区交付	平成29年度末現在 【地域運営委員会】14地区設置 【地域運営交付金】10地区交付	B

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【施策の方向性】	5 支え合いの仕組みづくり						
	（12）要支援者を支える仕組みづくりと地域団体の活性化（取組みテーマ④）						
	82	ちばし消費者 応援登録	高齢者への見守り等を含む消費者教育に係る活動を行う団体や個人の登録制度を実施し、消費者教育に関する情報提供や活動場所の提供などにより団体や個人の活動を支援します。	消費生活センター	平成29年度末目標 ・団体会員140団体 ・個人会員360人	高齢者への見守りを含む、消費者教育に関する取組を行っている団体や、消費者教育に興味のある個人の登録を促すとともに、登録した個人・団体に対し、暮らしの情報いずみ等の送付による情報提供や、活動場所としてセンターの貸出を行った。 ・団体会員92団体（10団体増） ・個人会員85人（15人増）（平成29年度末現在）	C
	83	各区支え合い のまち推進協 議会の開催	区計画の推進を目的として、議論や意見交換を通じた地域の生活課題や成果事例の共有、計画の進捗把握や推進方法の検討などを行います。	地域福祉課	引き続き、各区支え合いのまち推進協議会を開催し、区計画の推進を図ります。	各区支え合いのまち推進協議会において、地域活動の事例紹介や意見交換、進協だよりの発行等を行い、区計画の推進に努めた。 【各区支え合いのまち推進協議会】 ・開催回数 延べ21回 【推進協だより】 ・発行回数 延べ11回	A
	84	地域福祉交流 館の運営（再 掲）	地域福祉活動を促進するため、子どもから高齢者まで広く市民が利用できる施設として、小中台地域福祉交流館と犢橋地域福祉交流館を運営します。	地域福祉課	引き続き、小中台地域福祉交流館、犢橋地域福祉交流館を運営し、地域福祉の推進を図ります。	小中台地域福祉交流館、犢橋地域福祉交流館を運営し、地域福祉の推進を図った。 【小中台地域福祉交流館】 ・利用率 29.8% 【犢橋地域福祉交流館】 ・利用率 63.0%	A
	85	社協地区部会 活動の支援	地域交流の促進、支え合いの仕組みづくり、人材育成、健康づくりなど、区計画に基づく地域の取組み推進の中心的役割を担う社協地区部会の活動を支援します。	地域福祉課	引き続き、市社協に対し、補助金を交付するとともに、社協地区部会の活動に必要な支援を行います。	市社協に補助金を交付するとともに、関係部署との連絡調整を図るなど、社協地区部会の活動に必要な支援を行った。 【地区部会（68地区部会）活動実績】 ・地区部会だより 153回 ・ふれあい食事サービス 13,469食 ・いきいきサロン 3,651回 ・子育てサロン 688回 ・散歩クラブ 530回 ・見守り活動 29地区（263町内自治会） ・地域支え合い活動 5地区 ・福祉活動推進員研修会 4回（延べ595人参加） ・地区部会役員・実務者研修会 2回（延べ159人参加） ・地区部会ボランティア講座 116回 ・ことぶき大学校学生の実習受入 66名	A
	86	高齢者生活支 援サービス基 盤づくり	要支援の高齢者などが住み慣れた地域で安心して生活できるよう、掃除・買い物などの生活支援の充実を図るため、千葉市社会福祉協議会に補助します。	高齢福祉課	引き続き、社会福祉協議会に補助金を交付します。	掃除、買い物などの生活支援の充実のため、社会福祉協議会に補助金を交付した（5地区部会）。	A
	87	精神障害者家 族会への支援	精神障害者家族会が行う研修や相談事業に対し補助金を交付することにより、家族会の運営を支援するとともに、精神障害への正しい理解の促進を図ります。	精神保健福祉課	精神障害者家族会の研修や相談事業に対して補助金を交付することにより、家族会の運営を支援するとともに、精神障害への正しい理解の促進を図ります。 ・予定補助金対象家族会 5団体	精神障害者家族会の研修や相談事業に対して補助金を交付することにより、家族会の運営を支援するとともに、精神障害への正しい理解の促進を図った。 ・補助金交付家族会 5団体	A

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【施策の方向性】	5 支え合いの仕組みづくり						
	（12）要支援者を支える仕組みづくりと地域団体の活性化（取組みテーマ④）						
	88	障害のある子どもの学校生活サポート	学校や保護者の要請に応じてボランティアを派遣することにより、通常の学級に在籍する障害のある児童生徒の学校生活の支援をします。	教育委員会 養護教育センター	学校生活のサポートが必要な児童生徒にボランティアを派遣するとともに、機器の貸出しを行います。	通常学級に在籍する児童生徒11人に対し、15人のボランティアを147回派遣した。 また、階段昇降機を1校に1台、FM補聴器を2校に2台、貸出した。	A
	89	子育てに関する地域貢献活動への市職員への参加の促進	子ども・子育てに関する活動等の事業所管課は、庁内ネットワークを活用して市職員への情報提供・積極的参加を呼びかけます。	給与課	引き続き、庁内ネットワークを活用した呼びかけを行います。	子ども・子育てに関する活動等の事業所管課が、それらに関する情報提供・積極的参加を庁内ネットワークを活用して市職員に呼びかけた。	B
	90	子育てサークルの支援	育児のための情報交換や子育て親子の友達づくり、知識の普及など、地域で自主的に活動している子育てサークルを支援します。	健康支援課	引き続き実施し、支援を行っていく。	引き続き支援を行い、実施していく。 ・開催回数：401回 ・参加者人数：8,817人	A
	91	ファミリー・サポート・センター事業	「子育て中で困ったときに手を貸して欲しい方」と「子どもが好き」「子育て中のお母さんを助けてあげたい」などの思いをもって、いる方に会員登録をしてもらい、センターのアドバイザーが仲介となって、地域に住む会員同士で子育て支援をする相互援助活動を支援します。	幼保支援課	引き続き、ファミリー・サポート・センターの充実に努めるとともに、ひとり親へのより一層の相互援助活動の充実に努めます。	・会員数 5,619人（依頼会員4,295人、提供会員892人、両方会員432人） ・活動件数 10,877件 ・ひとり親家庭への助成件数 655件	A
	92	地域と連携した空き家有効活用事業	市民活動団体と市の協働により、空き家の有効活用に関する調査、課題解決、所有者や住民の合意形成など、事業全体のコーディネートを実施します。	住宅政策課	空家等対策計画の策定に向けて、実態調査を実施するとともに、空家等対策協議会を設置します。	空家等の利活用の促進に向けた方策などを示す「千葉市空家等対策計画」の策定に向け、千葉市空家等対策協議会を設置し4回開催するとともに、市内の空家の状況を把握するため、「千葉市空家等実態調査」を実施した。	A
	93	学校施設開放の推進	地域住民の学習などの活動の場を提供するため、学校施設の開放を進めます。	教育委員会 学校施設課	開放指針に基づく学校施設の開放実施します。（小学校3校）	小学校2校において、空き教室等の学校施設の開放を実施した。	B
	94	地域づくり拠点としての公民館の活用	公民館の運営に地域が参画する制度設計を行うことで、「地域の総合交流拠点」として、地域団体の活動を支援します。	教育委員会 生涯学習振興課	地域団体と教育委員会が共同で市民向け講座を開催します。 ・緑が丘公民館 4講座	地域団体と教育委員会が共同で市民向け講座を開催した。 ・緑が丘公民館 3講座 ・打瀬公民館 1講座	A
	95	区地域活性化支援事業	地域課題の解決や地域の活性化などを目的に、対象団体や対象事業等の応募資格を定め、審査・選考の上、交付決定した地域団体の活動の支援を行います。	中央区 地域振興課 花見川区 地域振興課 稲毛区 地域振興課 若葉区 地域振興課 緑区 地域振興課 美浜区 地域振興課	地域団体や市民活動団体による地域課題解決や地域活性化のための自主的な取り組みに対して助成します。 ・助成団体数 17団体 地域団体や市民活動団体による地域課題解決や地域活性化のための自主的な取り組みに対して助成します。 ・助成団体数 8団体 区内の学生、地域団体、市民活動団体等による地域課題解決や地域活性化のための自主的な取り組みに対して助成します。 ・助成団体数 6団体 地域団体や市民活動団体による地域課題解決や地域活性化のための自主的な取り組みに対し助成します。 ・助成団体数 21団体 地域団体や市民活動団体による地域課題解決や地域活性化のための自主的な取り組みに対して助成します。 ・助成団体数 15団体 地域団体や市民活動団体による地域課題解決や地域活性化のための自主的な取り組みに対し助成します。 ・助成団体数 7団体	地域団体や市民活動団体による地域課題解決や地域活性化のための自主的な取り組みに対して助成した。 ・助成団体数 16団体 地域団体や市民活動団体による地域課題解決や地域活性化のための自主的な取り組みに対して助成した。 ・助成団体数 8団体 区内で活動する学生、地域団体、市民団体等による地域課題解決や地域活性化のための自主的な取り組みに対して助成した。 ・助成団体数 6団体 地域団体や市民活動団体による地域課題解決や地域活性化のための自主的な取り組みに対し助成した。 ・助成団体数：21団体 地域団体や市民活動団体による地域課題解決や地域活性化のための自主的な取り組みに対して助成した。 ・助成団体数 14団体 地域団体や市民活動団体による地域課題解決や地域活性化のための自主的な取り組みに対して助成した。 ・助成団体数 7団体	A

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【 施 策 の 方 向 性 】 取 組 項 目	（13）見守り体制の構築（取組みテーマ⑤）						
	96	地域見守り活動支援事業	ひとり暮らし等の高齢者が、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、地域において見守り活動を新たに実施する団体に対し、環境の整備に必要な活動拠点の初期費用の一部を助成します。	高齢福祉課	引き続き、活動拠点の整備に係る初期費用を助成し、地域見守り活動の促進を図ります。 ・ 予定申請団体数 8団体	活動拠点の整備に係る初期費用を助成し、地域見守り活動の促進を行った。 ・ 利用団体数 3団体	B
	97	学 校 セ ー フ ティウォッチ	地域住民や保護者が登下校時を中心に見守りを行い、児童生徒の安全確保を図るボランティア活動を推進します。	教育委員会 学事課	学校セーフティウォッチャーの登録者数を増加させるとともに、講習会の開催やスクールガード・アドバイザーの配置を行うなど、登録者への支援を行います。 学校セーフティウォッチを推進することにより、子どもたちの登下校時の安全を確保します。	地域住民や保護者による登下校時の見守りボランティア「学校セーフティウォッチャー」の活動を支援し、児童生徒の安全確保を図った。 ○学校セーフティウォッチャーの登録拡充 登録者 25,800人（H30.3月末現在） ○学校セーフティウォッチャー講習会の開催（2回） 参加者 265人（合計） ○学校セーフティウォッチャーに対しての功労者表彰 表彰者数 64人（累計561人）（H30.3月末現在） ○スクールガード・アドバイザーの配置（13人） 各学校を巡回して、学校セーフティウォッチャーへの助言や情報提供等の支援を行った。	A
	98	美浜区見守りネットワーク	協力事業者と地域全体の見守りにより、孤独死防止を目指すとともに、ひとり暮らし高齢者を対象に迅速な救急活動に資するため、安心カードを配付します。	美浜区役所 地域振興課	ひとり暮らし高齢者宅等の異変の察知・通報体制を構築するとともに、ひとり暮らし高齢者等に安心カードを配布します。 ・ 安心カード配布数 500人	ひとり暮らし高齢者宅等の異変の察知・通報体制を構築するとともに、ひとり暮らし高齢者等に安心カードを配布した。 ・ 安心カード配布数 204人	B
	5 支え合いの仕組みづくり						
	（14）防犯に対する取組み（取組みテーマ⑥）						
	99	市民防犯活動の支援	防犯パトロール隊への物品配付や各種講座の開催、防犯街灯の設置助成等を実施します。	地域安全課	【防犯パトロール隊】 ・ 地域安全まちづくり講座 実施回数 1回 ・ 防犯アドバイザーの派遣 派遣回数 15回 ・ 防犯パトロール隊物品支援 支援団体 36団体 ・ 防犯パトロール隊交流会 開催回数 1回 【防犯街灯設置・管理費助成】 ・ 予定管理費助成 52,997灯 ・ 予定設置費助成 191灯 ・ 予定修理費助成 119件	【防犯パトロール隊】 ・ 地域安全まちづくり講座 実施回数 1回 ・ 防犯アドバイザーの派遣 派遣回数 6回 ・ 防犯パトロール隊物品支援 支援団体 18団体 ・ 防犯パトロール隊交流会 開催回数 1回 【防犯街灯設置・管理費助成】 ・ 管理費助成 52,015灯 ・ 設置費助成 220灯 ・ 修理費助成 79件	B
	100	地域防犯ネットワークの推進	市、警察及び事業者が協働して、地域の見守りネットワークを構築し、安全で安心なまちづくりを推進するとともに、犯罪発生情報等の防犯情報をスピーディーに配信する、ちばし安全・安心メールを実施します。	地域安全課	ちばし安全・安心メールを配信します。 1事業者と「千葉市内の防犯への協力に関する覚書」を締結します。 事業者等へ防犯ステッカーを配付します。	ちばし安全・安心メールを配信。 2事業者と「千葉市内の防犯への協力に関する覚書」を締結した。 事業者等へ防犯ステッカーを配付。	A
	101	交通安全対策	交通事故の実態や傾向について、ホームページや市政だよりなどの広報媒体を通じて広く情報を提供するとともに、地域の要請に応えた交通安全教育を推進するなど、警察をはじめとした関係機関、団体と連携しながら交通安全思想の普及・啓発を図ります。	地域安全課	ホームページや市政だより通じて情報提供を行います。 申請に応じて交通安全講話を実施します。 千葉県が実施する高齢者向けのイベント（高齢者交通安全リーダー研修）を後援します。	ホームページや市政だよりを通じて情報提供を行った。 交通安全講話を年間2回（48人）実施した。 千葉県が実施する高齢者向けのイベント（高齢者交通安全リーダー研修）を後援した。	A
	102	くらしの巡回講座の実施	高齢者や高齢者の見守り活動を行う団体等の希望の日時・場所・内容で、消費生活相談員等による悪質商法の最新の手法や対処法に係る講座を実施することにより、高齢者等の消費者被害の防止に係る啓発を行います。	消費生活センター	消費生活センターの発行する情報紙「暮らしの情報いずみ」による啓発や各種団体への働きかけを行い、巡回講座の実施回数及び受講者の増を図ります。	15人以上から構成されるグループや団体の希望に応じ、「悪質商法の手法と対処法」等消費生活の知識を学べる講座を実施した。（平成29年度実績97回4,238人が受講）	A

市の取組み（公助の取組み）一覧

【施策の方向性】

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【施策の方向性】	5 支え合いの仕組みづくり						
	(14) 防犯に対する取組み（取組みテーマ⑥）						
	103	保護司の活動支援	保護司会連絡協議会、更生保護女性会連絡協議会への補助金、千葉県更生保護助成協会への負担金を交付し、保護司の活動を支援します。 また、保護司の活動拠点である更生保護サポートセンターの設置を支援します。	地域福祉課	【交付金額】 ・保護司会連絡協議会 994,000円 ・更生保護女性会連絡協議会 43,500円 ・千葉県更生保護助成協会 2,654,000円	【交付金額】 ・保護司会連絡協議会 994,000円 ・更生保護女性会連絡協議会 32,651円 ・千葉県更生保護助成協会 2,654,000円	A
	104	こども110番のいえ	子どもたちの登下校時等における安全の確保を図るため、各中学校区青少年育成委員会が地域住民・事業者に緊急避難場所として「こども110番のいえ」を登録の依頼をし、ステッカーを掲示してもらいます。	健全育成課	協力者に継続を依頼するとともに、新規登録件数の増加を図る。 目標11,000件	【こども110番のいえ】 ・登録件数10,322件	A
	105	防犯ウォーキングの推進	市民が日頃のウォーキング等を兼ねて、気軽にパトロールを実施する「防犯ウォーキング」を推進します。	中央区 地域振興課	引き続き防犯ウォーキングボランティアの登録を行います。 ・購入予定物品（帽子） 100個	防犯ウォーキングボランティア登録者に専用の帽子を貸与した。 ・平成29年度新規登録者 122人	A
				花見川区 地域振興課	300人を超えるボランティア登録及び帽子貸与を目標とします。	防犯ウォーキングボランティア登録者に専用の帽子を貸与した。 ・平成29年度新規登録者数 298人	
				稲毛区 地域振興課	イベント開催時等にPRを実施し、登録者の増加を図ります。	防犯ウォーキングボランティア登録者に帽子等を貸与した。 ・平成29年度新規登録者数 109人	
				若葉区 地域振興課	新規登録者の募集を継続して行います。	防犯ウォーキングボランティア登録者に帽子等を貸与した。 ・平成29年度新規登録者数 98人	
				緑区 地域振興課	引き続き、事業の推進を行います。 ・市政だよりへの掲載（7月1日号） ・勸奨グッズ配付 ・区民祭りによる啓発	区民祭りにおいて、啓発を行った。 防犯ウォーキングボランティア登録者に帽子等を貸与した。 ・平成29年度新規登録者数 62人	
				美浜区 地域振興課	新規登録者の募集を継続して行う。	防犯ウォーキングボランティア登録者に帽子等を貸与した。 ・平成29年度新規登録者数 83人	
	(15) 防災に対する取組み（取組みテーマ⑦）						
	106	土砂災害警戒区域等における警戒避難体制の整備	大雨等による土砂災害から住民の生命・身体を保護するため、土砂災害ハザードマップの作成を通じて警戒避難体制を整備します。	危機管理課	県が行う土砂災害警戒区域等の指定に向けて、住民説明会の準備などに協力します。 県の指定を受けて、新たに土砂災害ハザードマップを作成し、関係住民への危険箇所の周知及び警戒避難態勢の整備を行うなど、ソフト対策を進めます。	県により指定予定の土砂災害警戒区域等にお住まいの住民を対象に県とともに説明会を開催し、土砂災害に対する啓発を行った。 また、土砂災害警戒区域等に住んでいる方に、土砂災害に対する情報収集や避難等に係るチラシを個別に配布し、啓発を行っている。	A
	107	自主防災組織の育成	町内自治会等が自主防災組織を設置する際の機材供与や、自主防災組織が実施する防災訓練、機材購入・賃借の際の助成を行います。	防災対策課	引き続き、助成を行います。	・自主防災組織数 1,021組織（H30.3月末現在） 【助成内容】 ①自主防災組織が新規に設置された時に、世帯数に応じた防災資機材の供与 ②組織が訓練を行った時、参加者1人あたり80円の助成 ③組織が防災資機材を購入・賃借した時に、その半額を助成 ※ただし、助成限度額＝10万円＋（世帯数×400円） ④上記③の助成限度額から支出した残額が基準額未満となつてから一定期間経過後、再度、防災資機材を購入・賃借した時の経費の半額を助成 ※ただし、世帯数に応じた助成限度額あり。	B

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【 施 策 の 方 向 性 】	5 支え合いの仕組みづくり						
	（15）防災に対する取組み（取組みテーマ⑦）						
	108	避難行動要支援者への対応（再掲）	介護認定を受けるひとり暮らし高齢者や障害者等、災害時の避難行動に支援を要する方に関する情報を、市と町内自治会・自主防災組織等が共有するなど、支援体制の構築を促進します。	防災対策課	引き続き、多くの団体に名簿情報が提供されるよう説明会等を実施し、地域における災害時の避難行動要支援者の支援体制の構築を推進します。	災害時の避難行動に支援を要する方（要支援者）の情報を記載した名簿を作成し、町内自治会等の地域団体より申請があった場合に、協定を締結し、掲載拒否者を除いた名簿を提供している。 名簿提供団体は、要支援者の支援体制構築に努めている。 ・名簿提供団体数 262団体（H30.3月末現在）	B
	109	避難所運営委員会の設立促進	災害時に迅速かつ円滑に避難所の開設・運営を行うため、地域の町内自治会や自主防災組織等が主体となった避難所運営委員会の設立を促進します。	防災対策課	全ての避難所で避難所運営委員会が設立されるよう、引き続き積極的に支援します。 設立支援はもとより、一部の区で実施していた、避難所運営委員会の活動を支援するための補助金制度を全市に拡大する等により、地域防災力の更なる向上を図ります。	町内自治会や、避難所運営委員会未設立の避難所に対し、避難所運営委員会の必要性を説明することで設立の促進を図った。 避難所運営委員会向けの研修会の実施など、既に避難所運営委員会が設立されている地域に対しても、地域防災力の向上を図った。 ・避難所運営委員会設立状況 平成29年度末時点 251団体 （平成28年度末時点 226団体）	A
	110	防災備蓄品の整備	各家庭や事業者が、最低3日分以上の食料や飲料水その他の生活必需品を備蓄するよう普及啓発を推進するとともに、自助・共助により賄われる備蓄物資等を補完するため、災害時に避難者が発災から3日間に最低限必要とする物資を賄うことができるよう備蓄品を拡充します。	防災対策課	引き続き発災から3日間に最低限必要とする防災備蓄品を整備していく。 【平成29年度備蓄品購入予定】 ・クラッカー 61,000食 ・アルファ米 61,000食 ・飲料水（500ml） 153,000本 ・マンホールトイレ 15基 ・簡易トイレ 440基 ・生理用品 10,025枚 ・アルミ毛布 6000枚 等	引き続き発災から3日間に最低限必要とする防災備蓄品を整備していく。 【平成29年度備蓄品購入内訳】 ・クラッカー 60,970食 ・アルファ米 61,000食 ・飲料水（500ml） 153,000本 ・マンホールトイレ 15基 ・簡易トイレ 440基 ・生理用品 12,030枚 ・アルミ毛布 6,000枚 ・ブルーシート 1,080枚 ・避難者用名札 97,450枚 ・消毒液 233本 ・ゴム手袋 33,200枚 ・マスク 86,000枚 ・ウェットティッシュ 194,920枚 ・歯ブラシ 24,750本 等	A
	111	災害情報ネットワーク	災害情報を伝達する、ちばし安心・安全メールの配信を行います。	防災対策課	災害情報共有システムの運用とともに、災害情報を収集する有効な手段として、市民へのちばし安全・安心メール等の周知をさらに推進していきます。	【ちばし安全・安心メール】 ・登録者数 43,081人（※H30.3月末現在） 【ちばし災害緊急速報メール】 災害時の緊急情報を同時に不特定多数の市民に対して配信 現在NTTドコモ、ソフトバンクモバイル、KDDIの3社で運用 【災害情報共有システム】 多様な災害関連情報を一元的に集約・共有するとともに、ちばし安全・安心メールや緊急速報メールなどの多様なメディアを活用して一斉に配信する状態を有するシステムを運用	A

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【 施 策 の 方 向 性 】	5 支え合いの仕組みづくり						
	（15）防災に対する取組み（取組みテーマ⑦）						
	112	災害時におけるボランティア体制の整備	災害時におけるボランティア活動が円滑に行われるよう、市社協が設置する災害ボランティアセンターの運営について、支援体制構築の準備を行います。	地域福祉課	引き続き、市社協に対し、補助金を交付するとともに、市社協が設置する災害ボランティアセンターの運営に必要な支援を実施します。	市社協に必要な支援を行った。 【災害ボランティア運営ボランティア講座】 災害ボランティアセンターの運営を担うボランティアを養成する講座を開催した。 「基礎講座」（1講座・2日・17人） 「フォローアップ講座」（1講座・1日・22人） 【災害ボランティアセンター設置運営訓練】 災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施した。 ※各年度1回実施した。	A
	6 福祉教育と人材育成						
	（16）福祉教育・啓発（取組みテーマ⑧）						
	113	市政出前講座	専門知識をもっている市職員が、地域の住民や団体による活動に寄与するため、地域に出向いて「出前講座」を行います。	広報広聴課	引き続き、市政出前講座を実施し、対話による市政の理解を図ります。	実施回数130回、延受講者数4,341人	A
	114	福祉教育の推進	千葉市社会福祉協議会が行う福祉教育推進のための各種事業を支援します。	地域福祉課	引き続き市社協に対し補助金を交付するとともに、福祉教育の推進に必要な支援を実施します。	市社協に補助金を交付するとともに、広報、後援等、必要な支援を行った。 【社協実績】 1 ボランティア活動推進協力校等指定事業（協力校15校、準協力校9校） 2 福祉教育研究大会の開催（1回） 3 福祉教育セミナーの開催（1回） 4 福祉体験用具貸出（373校 ※延貸出数） 5 ふれあいトークの開催（9回） 6 出張ボランティア・福祉体験講座の開催（29回） 7 地域での体験の場・活動機会提供体制構築（43地区） 8 広報誌・福祉冊子の発行、配布	A
	115	ボランティア講座開催支援	ボランティアの育成を図るため、千葉市ボランティアセンターが行う各種ボランティア講座の開催を支援します。	地域福祉課	引き続き市社協に対し補助金を交付するとともに、ボランティアの育成、講座開催等に必要な支援を実施します。	市社協に補助金を交付するとともに、広報等、必要な支援を行った。 【社協実績】 1 社会福祉施設ボランティアコーディネーター研修の開催（1講座・20名） 2 小・中・高大向けボランティア講座の開催（小：20名、小・中：17名、高大：8名） 3 区ボランティア入門講座の開催（30講座・51日・487名） 4 区ボランティア養成講座の開催（12講座・24日・240名）	A
	116	障害者福祉大会の開催	障害のある方とない方との交流を促進し、相互の理解を広め、人と人とのふれあいの輪を広げるため、障害者福祉大会を開催します。	障害者自立支援課	【障害者福祉大会】 ・日時 平成29年12月2日（土） 9時40分～12時20分 ・場所 千葉市ハーモニープラザ多目的ホール	【障害者福祉大会】 ・日時 平成29年12月2日（土） 9時40分～12時20分 ・場所 千葉市ハーモニー多目的ホール ・参加者数 362名（介助・付添者含む）	A
	117	障害者週間における啓発活動	障害者週間（12月）等における啓発活動を通して、地域とともに、障害者の福祉についての関心と理解を深めます。	障害者自立支援課	引き続き、実施します。	障害者週間（12月）における啓発活動の一環として、障害者福祉大会を開催した。 また、市政だより12月号にて、障害のある人もない人も、誰もが暮らしやすい共生社会の実現に向けた特集記事を掲載した。	A

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【 施 策 の 方 向 性 】	6 福祉教育と人材育成						
	（16）福祉教育・啓発（取組みテーマ⑧）						
	118	児童福祉週間における啓発活動	児童福祉週間（5月）等における啓発活動を通して、地域とともに、子どもの福祉についての関心と理解を深めます。	こども家庭支援課	引き続き、児童福祉週間（5月）に啓発を行い、“こどもの福祉”に対する関心と理解を深めます。	児童福祉週間（5月）に啓発を行い、“こどもの福祉”に対する関心と理解を深める取組みを推進した。 【啓発内容】 ・バス車内への広告掲示 ・公共施設へのポスター掲示	A
	119	学校・家庭・地域連携まちづくり推進事業	子どもたちの地域に対する愛着を育むため、学校・家庭・地域が連携して過ごしやすいまちづくり事業を推進します。	教育委員会 教育指導課	児童生徒を企画からの参画させます。 各地域関係機関との連携を図ります。	児童生徒の保護者、地域の方々に多く参加していただき、総参加者数は9万人超の規模となった。	A
	120	学校における総合的な学習の時間を通しての福祉教育	総合的な学習の時間等における福祉体験を通して、地域福祉の将来を担う子どもたちが、高齢者や障害者と互いに支え合いながら地域で安心して充実した生活を送ることができるよう、自他を認め合い、尊重し合う資質や能力、態度の育成に努めます。	教育委員会 教育指導課	教育課程説明会等を活用し、すべての学校において、福祉をテーマにした学習の実施を促します。	教育課程説明会等を活用し、学校に対して福祉をテーマにした学習の実施を促したところ、大部分の学校において、全体計画・年間指導計画に位置付けて実施された。	A
	121	千葉市科学館の利用促進	子どもたちの探究心向上と創造力育成のための参加体験型「科学館」の利用を促進します。 ボランティアの募集及び育成も行います。	教育委員会 生涯学習振興課	引き続き、市内の全ての小学校が、千葉市科学館を活用することを目指します。 同一校が複数回活用することを目指します。 科学館ボランティア育成のための講習会を開き、ボランティア活動の質的向上を目指します。	千葉市内のほぼすべての小学校が授業の一環として千葉市科学館を活用した。 ・科学館ボランティア登録者数213人 （延べ活動者数 8,616人）	A
	122	国際交流ボランティアの育成・活動支援の推進	外国人市民と日本人市民の相互理解の促進による多文化共生社会実現のため、日本語学習支援ボランティアを中心に研修等を実施するほか、災害時における語学ボランティアの活動の推進を図ります。 また、国際交流・国際協力活動を実施している団体への活動助成をすることで、本市における国際交流の活性化を図ります。	国際交流課	引き続き、千葉市国際交流協会において日本語学習支援ボランティアを中心に研修を行うほか、やさしい日本語ガイドンスを実施するとともに、活動団体への助成を行うことにより、ボランティアの育成、活動を支援し、国際化の推進を図ります。 「通訳ボランティア・スキルアップ講座」については、英語（一般・高校生）、中国語を実施し、併せて「通訳ボランティア・フォローアップ講座」を実施します。 新たに、ボランティアがより自主的・自立的に活動を展開できるよう、中心となるリーダーを育成するため、「国際交流ボランティア・リーダー会議」を実施する。	国際化に対応した外国人市民とともに生きる地域社会の形成のため、千葉市国際交流協会において日本語学習支援ボランティアを中心に研修等を行ったほか、災害時の翻訳支援シミュレーションを東北地域の国際交流協会と連携して実施した。 2020年に向けて外国人来葉者の受入体制を整えるために、英語（一般・高校生）、中国語の「通訳ボランティア・スキルアップ講座」及び、スキルアップ講座受講者を主な対象とした「通訳ボランティア・フォローアップ講座」を実施した。また、ボランティアが自主・自立的に活動できるように、中心となるリーダーを育成するための「国際交流ボランティア・リーダー会議」を新たに実施した。 また国際交流・国際協力団体の活動に対する助成を行うことにより、当該団体活動を支援し、国際化の推進を図った。	A
6 福祉教育と人材育成							
（17）人材確保とボランティア活動の促進（取組みテーマ⑨）							
	123	市民のボランティア・NPO活動参加の促進	市民活動支援センターにおいて、市民公益活動に関する情報の提供、講座の開催、相談などを行い、市民のボランティア・NPO活動参加へのきっかけづくりの場とします。 また、ボランティアデータベース「ちばぼら」を活用し、千葉市社会福祉協議会等と協力して、市内のボランティア団体やボランティア募集に関する情報を一元的に提供します。	市民自治推進課	引き続き、各事業を実施するとともに、新たに「まちなかボランティア養成講座」を開催します。	・ボランティア関連情報の収集、提供（710件） ・ボランティアに関する一般相談（249件） ・税理士等の6分野の専門家による相談、講座の開催（相談56回、講座6回）	A
	124	ボランティア活動補償制度	市内を拠点として活動しているボランティア団体等が、ボランティア活動中に人の生命や身体又は財物に損害を与え、法律上の損害賠償責任を負った場合、及び市民団体の指導者等又は活動参加者が、急激かつ偶然な外来の事故によって死亡もしくは負傷した場合に補償します。	市民自治推進課	引き続き、本制度を継続します。	【取扱実績】 ・事故件数 9件 ・補償件数 5件 ・補償額 519,000円	A

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【施策の方向性】	6 福祉教育と人材育成						
	（17）人材確保とボランティア活動の促進（取組みテーマ⑨）						
	125	民生委員協力員	希望する民生委員に、活動を補佐する民生委員協力員を配置し、民生委員の負担軽減と新たな地域福祉の担い手の掘り起こしを図ります。	地域福祉課	出来るだけ多くの方に民生委員協力員に就任していただけるよう、事業を実施していきます。	・協力員数（平成30年3月末）119人	A
	126	ボランティア活動の促進	ボランティアに関する相談受付・紹介、情報提供、広報・啓発、講座の開催など、千葉市ボランティアセンターが行うボランティアの育成・支援活動を支援します。	地域福祉課	引き続き市社協に対し補助金を交付するとともに、ボランティアの育成、コーディネート等に必要な支援を実施します。	市社協に補助金を交付するとともに、広報等、必要な支援を行った。 【社協実績】 1 ボランティア登録者 9,236名 （内訳：個人 3,351名、団体 5,885名（195グループ）） 2 ボランティアのコーディネート（依頼：370件、対応：360件） 3 その他（No115参照）	A
	127	ヘルスサポーターの養成（再掲）	家庭や身近な地域の中で、健康づくりを実践する仲間づくりを進めるヘルスサポーターを養成します。	健康支援課	各区保健福祉センター等で12コース、48回の教室を実施します。 教室の実施後に「おさらい会」を行い、教室修了者の健康づくりのための運動を継続できるよう支援します。	各区保健福祉センター等で12コース、48回の教室を実施した。 また、教室の実施後に「おさらい会」を行い、教室修了者の健康づくりのための運動を継続できるよう支援した。 ・養成者数 169人	A
	128	食生活改善推進員の養成（再掲）	地域の健康づくりのために、「食」を通したボランティア活動を行う食生活改善推進員（愛称「ヘルスメイト」）を養成します。	健康支援課	緑区健康課において、養成講座（9月～2月 6回コース）を開催します。	緑区健康課において、養成講座を実施。 ・参加者数 延146人（6回コース） 26人のヘルスメイトを養成	A
	129	認知症サポーター養成講座	地域の町内自治会や職場、有志の集まりなどに講師が出向いて認知症についての勉強会を実施し、認知症について正しい知識と理解を身につけた認知症サポーターを養成します。	地域包括ケア推進課	引き続き、認知症サポーターを養成するとともに、ステップアップ講座を開催し、サポーターの活躍の場について検討していきます。	認知症サポーター養成講座を177回実施し、10,399人を養成した。 キャラバン・メイト養成研修を1回実施し、42人を養成した。 キャラバン・メイト基礎講座&交流会を1回実施した。	A
	130	学校支援地域本部事業（再掲）	地域の教育力を生かし、学校教育の充実や地域コミュニティの活性化を図る、学校支援地域本部事業を推進します。	教育委員会 学事課	これまで実地している6校での継続、および新たに4地区10校で事業を実施する。（計6地区で実施）	平成28年度までの2地区6校（磯辺小、磯辺中、誉田小、誉田東小、誉田中、磯辺三小）に加え、29年度は白井中、白井小、松ヶ丘中、松ヶ丘小、仁戸名小、千草台中、千草台小、こてはし台中、こてはし台小、横戸小の10校でも事業を開始した。学習活動等に多くの地域ボランティアの支援があり、教育活動が充実した。	A
	131	生涯学習センター・公民館等における指導者及び各種ボランティア養成	地域における生涯を通じた学習活動を支援するため、団体・グループ等の指導者やボランティア等の養成を図ります。	教育委員会 生涯学習振興課	引き続き、生涯学習指導者やボランティア等の養成・研修等を実施します。	【生涯学習センター】 ・指導者の養成（17講座） 延べ受講者 513人 ・学習ボランティア活動の支援（110講座） 延受講者 1,184人 【公民館】 ・公民館クラブ・サークル研修会等 参加者数 378人	A
	132	応急手当普及啓発事業（再掲）	応急手当のできるバイスタンダー※を育成することで、要援護者、社会的弱者など市民全体の生命を守り、救命率の向上を図ります。 ※ bystander：救急現場に居合わせた人（発見者、同伴者等）	救急課	引き続き、応急手当のできるバイスタンダーを育成します。	関連団体と連携して救命講習会を開催し、応急手当のできるバイスタンダーの育成を推進した。 ・救命講習受講者数 40,871人	S

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【 施 策 の 方 向 性 】 【 取 組 項 目 】	6 福祉教育と人材育成						
	（17）人材確保とボランティア活動の促進（取組みテーマ⑨）						
	133	防犯ウォーキングの推進 （再掲）	市民が日頃のウォーキング等を兼ねて、気軽にパトロールを実施する「防犯ウォーキング」を推進します。	中央区 地域振興課	引き続き防犯ウォーキングボランティアの登録を行います。 ・購入予定物品（帽子） 100個	防犯ウォーキングボランティア登録者に専用の帽子を貸与した。 ・平成29年度新規登録者 122人	A
				花見川区 地域振興課	300人を超えるボランティア登録及び帽子貸与を目標とします。	防犯ウォーキングボランティア登録者に専用の帽子を貸与した。 ・平成29年度新規登録者数 298人	
				稲毛区 地域振興課	イベント開催時等にPRを実施し、登録者の増加を図ります。	防犯ウォーキングボランティア登録者に帽子等を貸与した。 ・平成29年度新規登録者数 109人	
				若葉区 地域振興課	新規登録者の募集を継続して行います。	防犯ウォーキングボランティア登録者に帽子等を貸与した。 ・平成29年度新規登録者数 98人	
				緑区 地域振興課	引き続き、事業の推進を行います。 ・市政だよりへの掲載（7月1日号） ・勸奨グッズ配付 ・区民祭りによる啓発	区民祭りにおいて、啓発を行った。 防犯ウォーキングボランティア登録者に帽子等を貸与した。 ・平成29年度新規登録者数 62人	
				美浜区 地域振興課	新規登録者の募集を継続して行う。	防犯ウォーキングボランティア登録者に帽子等を貸与した。 ・平成29年度新規登録者数 83人	
	7 ぐらしやすい環境づくり						
	（18）まちの基盤整備						
	134	バリアフリーのまちづくりの推進	乳幼児をもつ親、高齢者、障害者などすべての人が安心して外出し、活動できるよう、歩行者がまちを移動するときの安全性を確保するとともに、不特定多数の人が利用する公共的な施設などのバリアフリー化を推進します。	交通政策課	モノレール千葉みなと駅の障害者トイレの多機能化を行い、平成29年度中の完成を目指します。	モノレール千葉みなと駅の障害者トイレの多機能化を行った。	A
				建築指導課	引き続き、建築関連の事前協議等の際に、整備基準に適合する施設となるよう指導・助言を行い、バリアフリーの普及に努めます。	建築関連の事前協議等の際に、バリアフリー法及び千葉県福祉のまちづくり条例に基づき、整備基準に適合する施設となるよう指導・助言を行った。	
				公園管理課	国の補助金を活用した事業実施を予定していましたが、平成29年度は補助金がつかなかったこともあり、実施の予定はありません。	国の補助金の減額に伴い、平成29年度の事業実績及び評価はありません。	
				土木保全課	引き続き、歩道のバリアフリーを推進します。 ・歩道の段差解消 22か所 ・視覚障害者誘導用ブロックの設置 2.8km	横断歩道部などにある歩道と車道の段差を解消する工事を55か所、視覚障害者誘導用ブロックの設置（補修を含む）を3.9km行った。	
				自転車対策課	引き続き、放置自転車対策を推進します。	安全で使いやすく、安心して駐車ができるよう自転車駐車場の整備及び管理運営を行ない、加えて、放置自転車の追放指導及び移動・保管により、安全な道路空間を確保することで、放置自転車対策を推進した。	
				教育委員会 学校施設課	小学校2校、中学校3校にエレベーターを設置する。	小学校2校、中学校3校にエレベータを設置した。	
	135	交通アクセスの確保	交通不便地域の解消や、高齢者の外出支援、公共施設へのアクセスなど公共交通の利便性の向上を図ります。	交通政策課	引き続き、若葉区泉地域においてコミュニティバスを運行します。	若葉区泉地域においてコミュニティバスを運行した。	A

市の取組み（公助の取組み）一覧

	No.	事業・施策名	内 容	担当課	平成29年度の 予定・目標	平成29年度の実績 （取組状況）	担当課 評価
【 施 策 の 方 向 性 】	7	くらしやすい環境づくり					
		(18) まちの基盤整備					
	136	交通安全総点検	安全で快適な道路環境をつくるため、市民参加による道路点検を推進します。	中央区 地域振興課	引き続き、交通安全総点検を実施します。 ・実施地区：未定	大蔵寺小学区において実施し、一部改善した。	B
				花見川区 地域振興課	対象年度ではないため、実施予定なし。 ※花見川区と稲毛区で交互に実施しており、平成30年度は花見川区で実施予定	対象年度ではないため、実施なし。	
				稲毛区 地域振興課	町内自治会、警察、学校等とともに、実際に歩いて点検を実施し、問題点や課題を抽出します。	平成29年度の実績・評価はなし。	
				若葉区 地域振興課	町内自治会、警察、学校等とともに、実際に歩いて点検を実施し、問題点や課題を抽出します。	平成29年度の実績・評価はなし。	
				緑区 地域振興課	対象年度ではないため、実施予定なし。 ※若葉区と緑区で交互に実施しており、平成30年度は緑区で実施予定	過年度より実施していない。	
				美浜区 地域振興課	美浜区では実施予定がありません。	美浜区では事業実施していないため、該当なし。	